

# ハロートレーニングの実施状況について

〈令和4年度第2回 岩手県地域職業能力開発促進協議会資料〉

令和5年3月1日（水）

厚生労働省岩手労働局  
職業安定部訓練室

# 目次

---

1. ハポートレーニングの概要 -P.2
2. 過去3年間における雇用指標・訓練実施状況の推移 -P.3
3. ハポートレーニング（離職者向け）実施状況の推移 -P.4
4. ハポートレーニング（離職者向け）実施状況（種類別） -P.5～8
5. 令和3・4年度 ハポートレーニング（離職者向け）実施状況（年齢別） -P.9～10
6. 令和4年度の指標から分析した改善すべき方向性 -P.11
7. 地域別訓練実施機関の状況 -P.12
8. 短期間・短時間特例訓練の実施状況-P.13
9. 託児サービス付き訓練の実施状況 -P.13
10. 長期高度人材育成コースの推進 -P.14
11. 令和4年度 ハポートレーニング（離職者訓練以外）の実施状況 -P.15～17
12. ハポートレーニングの認知度の向上に向けた周知・広報 -P.18～19

# 1. ハロートレーニングの概要

	離職者向け	在職者向け	学卒者向け	障害者向け
公共職業訓練	<p>①対象：主に雇用保険受給者 ②期間：概ね3か月～2年 (令和5年3月31日まで特例措置により1～2か月の訓練実施が可能) ③実施機関：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● (独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構 (ポリテクセンター岩手) <b>主にものづくり分野の訓練</b> 【施設内訓練】</li> <li>● 民間教育訓練機関等 (岩手県の委託) 事務・介護・情報・建設系の訓練 【委託訓練】</li> </ul>	<p>①対象：在職者 ②期間：概ね2日～5日 ③実施機関： ・ (独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構 (ポリテクセンター岩手/生産性向上人材育成センター) ・ 岩手県 (職業能力開発校)</p>	<p>①対象：高等学校の卒業生等 ②期間：1年～2年 ③実施機関： ・ 岩手県 (職業能力開発校)</p>	<p>①対象：HWの求職者、特別支援学校の卒業未内定者 ②期間：概ね3か月～1年 ③実施機関： ・ 民間教育訓練機関・企業等 (岩手県の委託)</p>
求職者支援訓練	<p>①対象：主に雇用保険を受給できない方 ②期間：3か月～6か月 (令和5年3月31日まで特例措置により2週間以上の訓練期間があれば実施が可能) ③実施機関：民間教育訓練機関等 〈基礎コース〉 社会人スキルと基礎的な職業スキルを習得 〈実践コース〉 基本的技能と実践的スキルを一括して習得</p> <p>※ 求職者支援訓練は、雇用保険と生活保護の間を繋ぐセーフティーネットの一つと位置づけられ、平成23年から運用開始。 受講者には「職業訓練受講給付金」として、月10万円+交通費・寄宿手当を支給。 (世帯収入等の要件あり)</p>	<div style="border: 2px dashed orange; padding: 10px;"> <p>【委託訓練の種類】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 離職者再就職訓練 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 短期訓練コース (3か月・6か月)</li> <li>・ 長期高度人材育成コース (2年/介護福祉士、保育士養成コース他)</li> </ul> </li> <li>● 母子家庭の母等の職業自立促進訓練 ひとり親の家族の母親を対象とした短期育成コース (3か月)</li> <li>● 日本版デュアルシステム訓練 就業経験の少ない方を対象としたコース、企業実習を含む実践的訓練</li> <li>● eラーニングコース 外出に制限がある方、居住地に訓練実施機関がない方等に対する情報通信機器を活用した訓練</li> </ul> </div>		

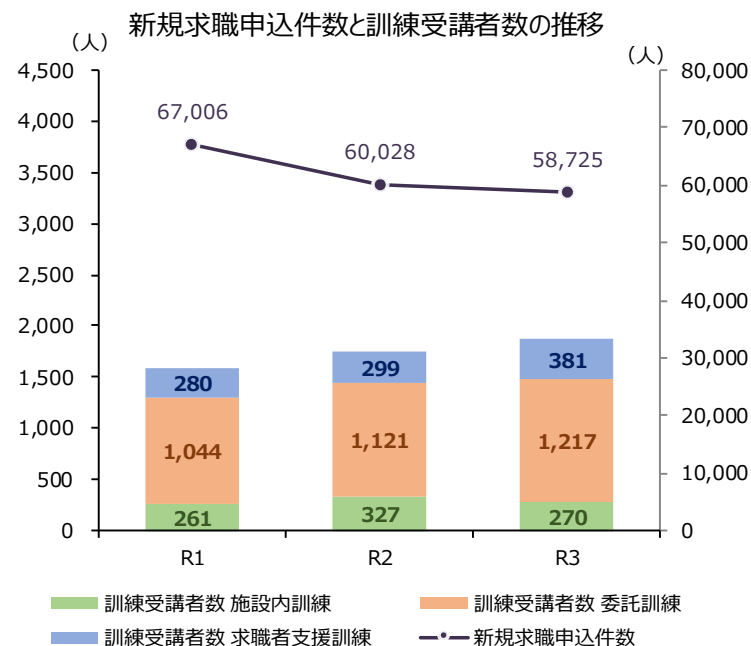
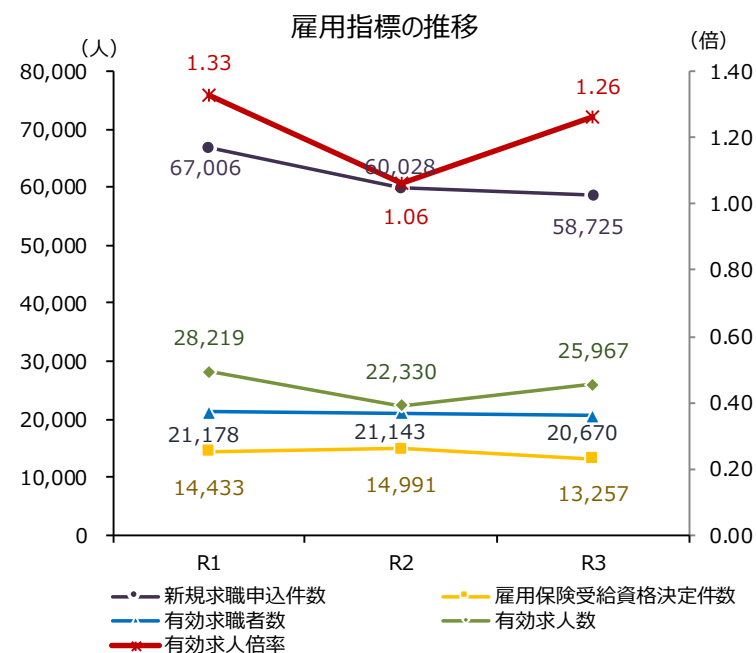


## 2. 過去3年間における雇用指標・訓練実施状況の推移

岩手労働局 職業安定部 訓練室

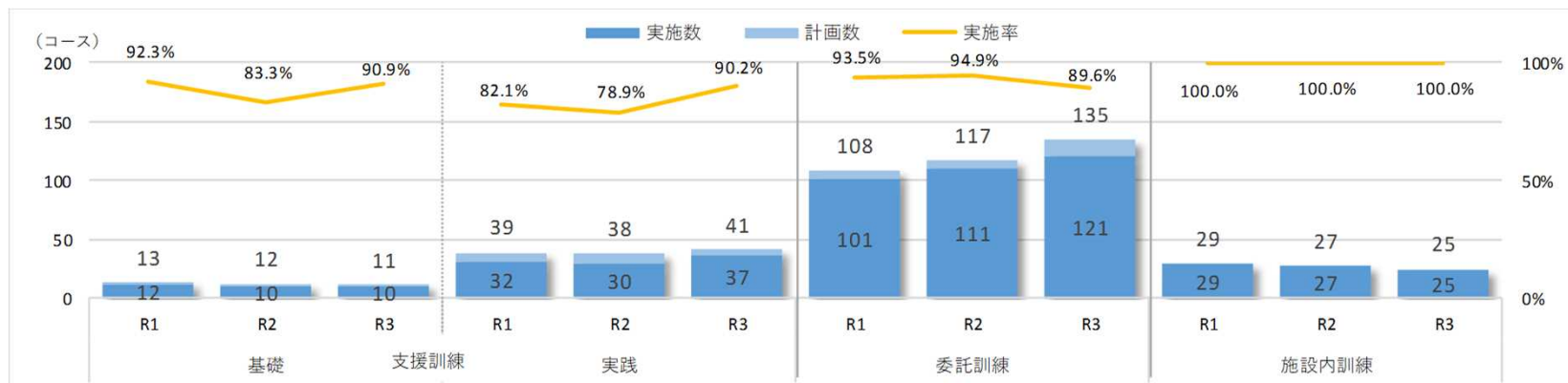
	R1	R2	R3
新規求職申込件数	67,006	60,028	58,725
雇用保険受給資格決定件数	14,433	14,991	13,257
有効求職者数	21,178	21,143	20,670
有効求人数	28,219	22,330	25,967
有効求人倍率	1.33	1.06	1.26
訓練開講定員	2,250	2,337	2,545
求職支援訓練	559	503	653
委託訓練	1,331	1,474	1,524
施設内訓練	360	360	368
訓練受講者数	1,585	1,747	1,868
求職者支援訓練	280	299	381
委託訓練	1,044	1,121	1,217
施設内訓練	261	327	270
充足率	70.4%	74.8%	73.4%
求職者支援訓練	50.1%	59.4%	58.3%
委託訓練	78.4%	76.1%	79.9%
施設内訓練	72.5%	90.8%	73.4%

- ※ 新規求職申込件数・有効求職者数・有効求人数は、一般及びパートの合計です。
- ※ 雇用保険受給資格決定件数は、一般求職者給付の件数です。
- ※ 有効求職者数・有効求人数は、その年度における平均です。

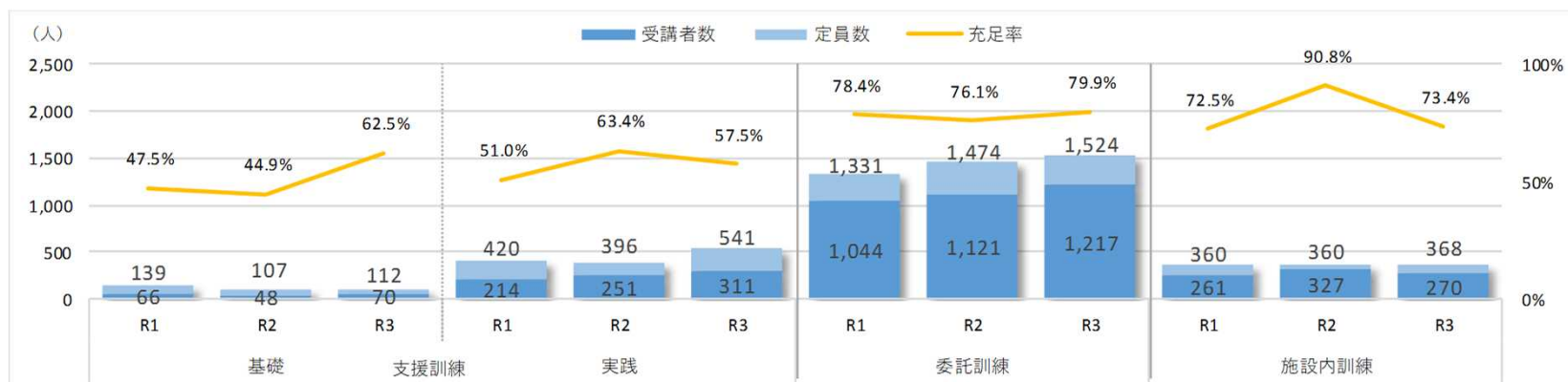


### 3. ハートトレーニング（離職者向け）実施状況の推移

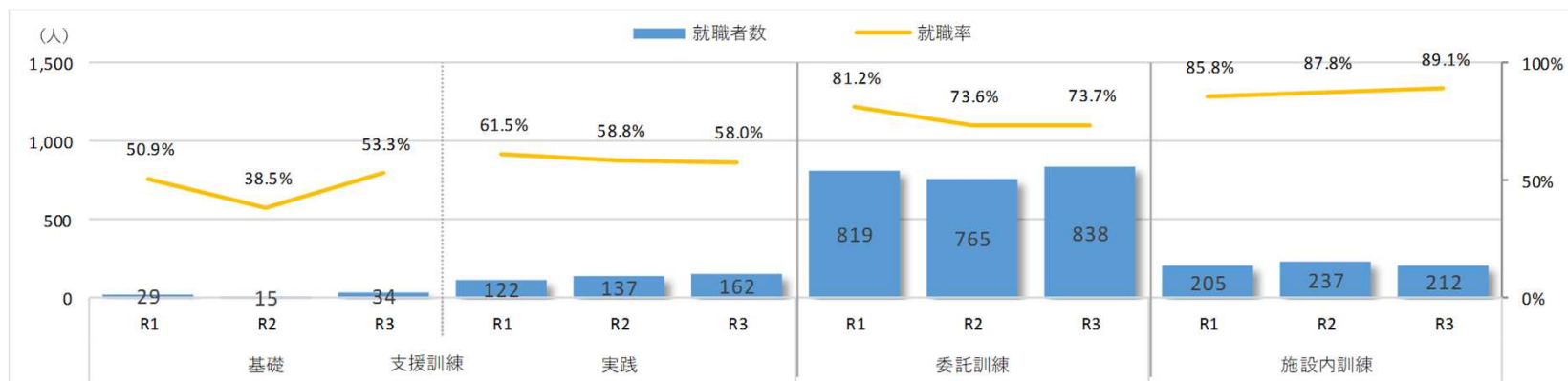
#### ○実施コース数・実施率



#### ○受講者数・充足率



#### ○就職者数・就職率



## 4. ハロートレーニング（離職者向け）実施状況（種類別）

### （1）公共職業訓練（委託訓練）の実施状況

分野	令和4年度					
	コース数	コース定員の計	受講者数	応募倍率	定員充足率	就職率
I T分野	6	69	72	1.38	1.04	72.7%
営業・販売・事務分野	57	845	702	1.03	0.83	70.3%
医療事務分野	5	69	47	0.72	0.68	63.2%
介護・医療・福祉分野	22	170	126	0.90	0.74	87.0%
農業分野				-	-	
旅行・観光分野				-	-	
デザイン分野	10	150	141	1.23	0.94	86.0%
製造分野	0	0	0	-	-	
建設関連分野	4	45	35	1.04	0.78	75.0%
理容・美容関連分野	6	14	15	1.14	1.07	
その他分野	4	7	12	1.86	1.71	
合計	114	1369	1150	1.05	0.84	73.3%
（参考）デジタル分野（※）	14	174	169	1.31	0.97	86.0%

※ デジタル分野は上記のそれぞれの分野に分布していることから、別集計としている。

（注1） 令和5年1月末現在の状況。就職率については令和4年4月以降確定分のみで算出。

## 4. ハロートレーニング（離職者向け）実施状況（種類別）

### （2）公共職業訓練（施設内訓練）の実施状況

分野	令和4年度					
	コース数	コース定員の計	受講者数	応募倍率	定員充足率	就職率
I T分野				-	-	
営業・販売・事務分野				-	-	
医療事務分野				-	-	
介護・医療・福祉分野				-	-	
農業分野				-	-	
旅行・観光分野				-	-	
デザイン分野				-	-	
製造分野計	13	187	98	0.56	0.52	78.2%
（うち電気関連分野）	6	90	52	0.63	0.58	92.6%
（うち機械関連分野）	3	45	27	0.60	0.60	82.1%
（うち金属関連分野）	4	52	19	0.38	0.37	83.3%
（うちその他の製造関連分野）				-	-	
建設関連分野	7	119	107	1.02	0.90	74.2%
理容・美容関連分野				-	-	
その他分野	3	30	40	1.33	1.33	
合計	23	336	245	0.79	0.73	80.3%
（参考）デジタル分野（※）				-	-	

※ デジタル分野は上記のそれぞれの分野に分布していることから、別集計としている。

（注1） 令和5年1月末現在の状況。就職率については令和4年4月以降確定分のみで算出。

## 4. ハロートレーニング（離職者向け）実施状況（種類別）

### （3）求職者支援訓練の実施状況

分野	令和4年度					
	コース数	コース定員の計	受講者数	応募倍率	定員充足率	就職率（注2）
I T分野				-	-	
営業・販売・事務分野	19	274	179	0.81	0.65	66.6%
医療事務分野	3	45	35	0.87	0.78	
介護・医療・福祉分野	6	90	40	0.54	0.44	83.3%
農業分野				-	-	
旅行・観光分野				-	-	
デザイン分野	3	45	45	1.58	1.00	
製造分野				-	-	
建設関連分野				-	-	
理容・美容関連分野				-	-	
その他分野				-	-	
基礎	8	84	51	0.65	0.61	71.4%
合計	39	538	350	0.81	0.65	70.0%
（参考）デジタル分野（※）	2	30	30	1.83	1.00	

※ デジタル分野は上記のそれぞれの分野に分布していることから、別集計としている。

（注1） 令和5年1月末現在の状況。就職率については令和4年4月以降確定分のみで算出。

（注2） 就職率については、以下の算定式（ただし、式の分母分子から訓練終了日において65歳以上の者を除く。）により算出。  
 就職者数(雇用保険適用) ÷ 修了者等数（①就職理由中退者+②訓練修了者-③次の訓練を受講する者(基礎コースのみ)）



## 4. ハロートレーニング（離職者向け）実施状況（種類別）

### （4）総計

	令和4年度		
	コース数	コース定員の計	受講者数
I T分野	6	69	72
営業・販売・事務分野	76	1119	881
医療事務分野	8	114	82
介護・医療・福祉分野	28	260	166
農業分野	0	0	0
旅行・観光分野	0	0	0
デザイン分野	13	195	186
製造分野	13	187	98
建設関連分野	11	164	142
理容・美容関連分野	6	14	15
その他分野	7	37	52
基礎	8	84	51
合計	176	2243	1745
（参考）デジタル分野（※）	16	204	199

※ デジタル分野は上記のそれぞれの分野に分布していることから、別集計としている。

# 5. 令和3年度 ハロートレーニング（離職者向け）実施状況（年齢別）

		受講者数		年齢別割合												平均年齢		
		男性	女性	20歳未満	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上	男性	女性		
求職者支援訓練	基礎	70	16	54	3	5	6	2	8	5	9	7	14	7	4	45.8	45.4	45.8
		100.0%	22.9%	77.1%	4.3%	7.1%	8.6%	2.9%	11.4%	7.1%	12.9%	10.0%	20.0%	10.0%	5.7%			
	実践	311	83	228	2	27	39	28	34	34	48	31	27	27	14	42.7	43.9	42.2
		100.0%	26.7%	73.3%	0.6%	8.7%	12.5%	9.0%	10.9%	10.9%	15.4%	10.0%	8.7%	8.7%	4.5%			
	営業・販売・事務分野	201	53	148	2	17	24	19	21	19	29	19	22	19	10	43.4	42.9	43.5
		100.0%	26.4%	73.6%	1.0%	8.5%	11.9%	9.5%	10.4%	9.5%	14.4%	9.5%	10.9%	9.5%	5.0%			
	医療事務分野	49	3	46	0	4	9	6	8	7	8	4	2	1	0	38.2	27.0	38.9
		100.0%	6.1%	93.9%	0.0%	8.2%	18.4%	12.2%	16.3%	14.3%	16.3%	8.2%	4.1%	2.0%	0.0%			
	介護・医療・福祉分野	42	20	22	0	2	2	1	3	5	9	6	3	7	4	48.8	50.8	46.9
		100.0%	47.6%	52.4%	0.0%	4.8%	4.8%	2.4%	7.1%	11.9%	21.4%	14.3%	7.1%	16.7%	9.5%			
その他の分野	19	7	12	0	4	4	2	2	3	2	2	0	0	0	34.3	39.4	31.3	
	100.0%	36.8%	63.2%	0.0%	21.1%	21.1%	10.5%	10.5%	15.8%	10.5%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%				
計	381	99	282	5	32	45	30	42	39	57	38	41	34	18	43.2	44.1	42.9	
	100.0%	26.0%	74.0%	1.3%	8.4%	11.8%	7.9%	11.0%	10.2%	15.0%	10.0%	10.8%	8.9%	4.7%				
公共職業訓練（都道府県委託）	IT分野	203	52	151	1	16	15	20	24	17	34	24	19	31	2	44.1	45.6	43.5
		100.0%	25.6%	74.4%	0.5%	7.9%	7.4%	9.9%	11.8%	8.4%	16.7%	11.8%	9.4%	15.3%	1.0%			
	営業・販売・事務分野	616	112	504	9	52	54	76	66	82	75	80	63	51	8	42.1	41.8	42.2
		100.0%	18.2%	81.8%	1.5%	8.4%	8.8%	12.3%	10.7%	13.3%	12.2%	13.0%	10.2%	8.3%	1.3%			
	医療事務分野	45	0	45	0	5	5	7	8	9	7	2	2	0	0	38.0		38.0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	11.1%	11.1%	15.6%	17.8%	20.0%	15.6%	4.4%	4.4%	0.0%	0.0%			
	介護・医療・福祉分野	115	37	78	2	7	10	5	7	20	20	9	15	15	5	45.5	42.8	46.8
	100.0%	32.2%	67.8%	1.7%	6.1%	8.7%	4.3%	6.1%	17.4%	17.4%	7.8%	13.0%	13.0%	4.3%				
その他の分野	197	86	111	2	25	23	26	25	23	22	20	16	13	2	39.7	41.8	38.1	
	100.0%	43.7%	56.3%	1.0%	12.7%	11.7%	13.2%	12.7%	11.7%	11.2%	10.2%	8.1%	6.6%	1.0%				
計	1,176	287	889	14	105	107	134	130	151	158	135	115	110	17	42.2	42.6	42.1	
	100.0%	24.4%	75.6%	1.2%	8.9%	9.1%	11.4%	11.1%	12.8%	13.4%	11.5%	9.8%	9.4%	1.4%				
公共職業訓練（機構施設内）	CAD/NCオペレーション科	36	29	7	1	2	7	1	5	8	2	2	6	1	1	40.7	41.6	37.0
		100.0%	80.6%	19.4%	2.8%	5.6%	19.4%	2.8%	13.9%	22.2%	5.6%	5.6%	16.7%	2.8%	2.8%			
	金属加工科	22	20	2	0	1	0	1	3	4	2	4	5	2	0	47.0	47.8	40.0
		100.0%	90.9%	9.1%	0.0%	4.5%	0.0%	4.5%	13.6%	18.2%	9.1%	18.2%	22.7%	9.1%	0.0%			
	電気設備エンジニア科	27	26	1	0	0	6	4	4	3	4	0	1	5	0	41.1	41.1	40.0
		100.0%	96.3%	3.7%	0.0%	0.0%	22.2%	14.8%	14.8%	11.1%	14.8%	0.0%	3.7%	18.5%	0.0%			
	設備メンテナンス科	10	10	0	0	1	2	2	1	1	0	3	0	0	0	36.7	36.7	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	10.0%	20.0%	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
建築CAD施工科	70	32	38	2	5	6	7	6	8	9	16	5	4	2	42.9	42.8	42.9	
	100.0%	45.7%	54.3%	2.9%	7.1%	8.6%	10.0%	8.6%	11.4%	12.9%	22.9%	7.1%	5.7%	2.9%				
ビル管理技術科	69	67	2	0	0	3	3	6	5	10	9	20	12	1	50.5	50.9	37.5	
	100.0%	97.1%	2.9%	0.0%	0.0%	4.3%	4.3%	8.7%	7.2%	14.5%	13.0%	29.0%	17.4%	1.4%				
計	234	184	50	3	9	24	18	25	29	27	34	37	24	4	44.7	45.5	41.7	
	100.0%	78.6%	21.4%	1.3%	3.8%	10.3%	7.7%	10.7%	12.4%	11.5%	14.5%	15.8%	10.3%	1.7%				
総合計	1,791	570	1,221	22	146	176	182	197	219	242	207	193	168	39	42.8	43.8	42.3	
	100.0%	31.8%	68.2%	1.2%	8.2%	9.8%	10.2%	11.0%	12.2%	13.5%	11.6%	10.8%	9.4%	2.2%				

※ 令和5年1月末現在（岩手労働局集計）

# 5. 令和4年度 ハロートレーニング（離職者向け）実施状況（年齢別）

	受講者数		年齢別割合													平均年齢		
	男性	女性	20歳未満	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上	男性	女性			
求職者支援訓練	基礎	51	9	42	0	2	3	7	9	9	5	5	5	3	3	44.1	42.6	44.4
		100.0%	17.6%	82.4%	0.0%	3.9%	5.9%	13.7%	17.6%	17.6%	9.8%	9.8%	9.8%	5.9%	5.9%			
	実践	299	58	241	1	31	26	31	36	45	40	35	22	24	8	42.1	43.7	41.7
		100.0%	19.4%	80.6%	0.3%	10.4%	8.7%	10.4%	12.0%	15.1%	13.4%	11.7%	7.4%	8.0%	2.7%			
	営業・販売・事務分野	179	36	143	0	19	11	17	23	30	25	22	13	15	4	42.6	43.6	42.3
		100.0%	20.1%	79.9%	0.0%	10.6%	6.1%	9.5%	12.8%	16.8%	14.0%	12.3%	7.3%	8.4%	2.2%			
	医療事務分野	35	1	34	0	3	5	2	3	6	5	5	3	3	0	42.5	38.0	42.6
		100.0%	2.9%	97.1%	0.0%	8.6%	14.3%	5.7%	8.6%	17.1%	14.3%	14.3%	8.6%	8.6%	0.0%			
	介護・医療・福祉分野	40	13	27	1	4	1	1	4	3	6	5	5	6	4	48.1	51.1	46.5
		100.0%	32.5%	67.5%	2.5%	10.0%	2.5%	2.5%	10.0%	7.5%	15.0%	12.5%	12.5%	15.0%	10.0%			
その他の分野	45	8	37	0	5	9	11	6	6	4	3	1	0	0	35.0	33.0	35.5	
	100.0%	17.8%	82.2%	0.0%	11.1%	20.0%	24.4%	13.3%	13.3%	8.9%	6.7%	2.2%	0.0%	0.0%				
計	350	67	283	1	33	29	38	45	54	45	40	27	27	11	42.4	43.6	42.1	
	100.0%	19.1%	80.9%	0.3%	9.4%	8.3%	10.9%	12.9%	15.4%	12.9%	11.4%	7.7%	7.7%	3.1%				
公共職業訓練（都道府県委託）	IT分野	126	38	88	2	9	8	10	9	11	23	15	13	19	7	46.0	49.2	44.7
		100.0%	30.2%	69.8%	1.6%	7.1%	6.3%	7.9%	7.1%	8.7%	18.3%	11.9%	10.3%	15.1%	5.6%			
	営業・販売・事務分野	620	134	486	4	43	66	63	88	68	76	71	71	56	14	42.9	46.1	42.1
		100.0%	21.6%	78.4%	0.6%	6.9%	10.6%	10.2%	14.2%	11.0%	12.3%	11.5%	11.5%	9.0%	2.3%			
	医療事務分野	47	0	47	0	3	5	14	3	6	10	4	2	0	0	38.4		38.4
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	6.4%	10.6%	29.8%	6.4%	12.8%	21.3%	8.5%	4.3%	0.0%	0.0%			
	介護・医療・福祉分野	104	25	79	0	9	5	10	6	11	12	18	17	11	5	46.6	50.4	45.4
		100.0%	24.0%	76.0%	0.0%	8.7%	4.8%	9.6%	5.8%	10.6%	11.5%	17.3%	16.3%	10.6%	4.8%			
	その他の分野	214	88	126	1	35	22	31	31	25	23	12	19	13	2	38.8	41.4	37.0
		100.0%	41.1%	58.9%	0.5%	16.4%	10.3%	14.5%	14.5%	11.7%	10.7%	5.6%	8.9%	6.1%	0.9%			
計	1,111	285	826	7	99	106	128	137	121	144	120	122	99	28	42.6	45.4	41.7	
	100.0%	25.7%	74.3%	0.6%	8.9%	9.5%	11.5%	12.3%	10.9%	13.0%	10.8%	11.0%	8.9%	2.5%				
公共職業訓練（機構施設内）	CAD/NCオペレーション科	27	21	6	0	2	6	8	2	4	2	2	0	0	1	35.3	35.3	35.2
		100.0%	77.8%	22.2%	0.0%	7.4%	22.2%	29.6%	7.4%	14.8%	7.4%	7.4%	0.0%	0.0%	3.7%			
	金属加工科	19	16	3	0	2	0	5	0	2	2	1	3	4	0	44.5	46.7	33.0
		100.0%	84.2%	15.8%	0.0%	10.5%	0.0%	26.3%	0.0%	10.5%	10.5%	5.3%	15.8%	21.1%	0.0%			
	電気設備施工科	42	39	3	0	4	4	8	10	4	3	6	0	2	1	39.0	39.7	30.7
		100.0%	92.9%	7.1%	0.0%	9.5%	9.5%	19.0%	23.8%	9.5%	7.1%	14.3%	0.0%	4.8%	2.4%			
	生産システム技術科	11	10	1	0	1	2	2	3	0	1	0	0	2	0	38.0	38.2	36.0
		100.0%	90.9%	9.1%	0.0%	9.1%	18.2%	18.2%	27.3%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	18.2%	0.0%			
	建築CAD施工科	62	36	26	0	4	6	5	9	10	5	4	3	14	2	44.7	48.1	40.0
		100.0%	58.1%	41.9%	0.0%	6.5%	9.7%	8.1%	14.5%	16.1%	8.1%	6.5%	4.8%	22.6%	3.2%			
ビル管理技術科	45	44	1	0	0	3	3	4	4	2	7	7	12	3	50.7	51.0	39.0	
	100.0%	97.8%	2.2%	0.0%	0.0%	6.7%	6.7%	8.9%	8.9%	4.4%	15.6%	15.6%	26.7%	6.7%				
計	206	166	40	0	13	21	31	28	24	15	20	13	34	7	43.2	44.5	37.9	
	100.0%	80.6%	19.4%	0.0%	6.3%	10.2%	15.0%	13.6%	11.7%	7.3%	9.7%	6.3%	16.5%	3.4%				
総合計	1,667	518	1,149	8	145	156	197	210	199	204	180	162	160	46	42.7	44.9	41.7	
	100.0%	31.1%	68.9%	0.5%	8.7%	9.4%	11.8%	12.6%	11.9%	12.2%	10.8%	9.7%	9.6%	2.8%				

※ 令和5年1月末現在（岩手労働局集計）

## 6. 令和4年度の指標から分析した改善すべき方向性

就職率 高

### 【就職率「高」・応募倍率「低」の分野の改善方策】

求人ニーズは高いが受講希望者は少ない。

(該当分野：製造分野)

#### <考えられる改善の方向性>

- ポリテクセンターで開催しているハロトレ見学会への誘導
- ハローワークの窓口おける周知

### 【就職率「高」・応募倍率「高」の分野の改善方策】

求人ニーズ、求職者ニーズを踏まえた効果的な職業訓練と言える。

(該当分野：デザイン分野)

#### <考えられる改善の方向性>

- 応募倍率が100%を超えている場合には、申込者数に応じた定員の拡充について要検討
- 新規コースの開拓

応募倍率  
低

応募倍率  
高

### 【就職率「低」・応募倍率「低」の分野の改善方策】

求人ニーズ、受講者ニーズ双方をとらえ切れていない可能性がある。

(該当分野：医療事務分野)

#### <考えられる改善の方向性>

- 開催地域での求人ニーズ、受講者ニーズに即した訓練内容になっているか要検討
- ハローワークの窓口おける周知

### 【応募倍率「高」・就職率「低」の分野の改善方策】

求人ニーズをとらえ切れていない可能性があるとともに、受講者に就職率が低いことが伝わっていない可能性がある。

(該当分野：営業・販売・事務分野)

#### <考えられる改善の方向性>

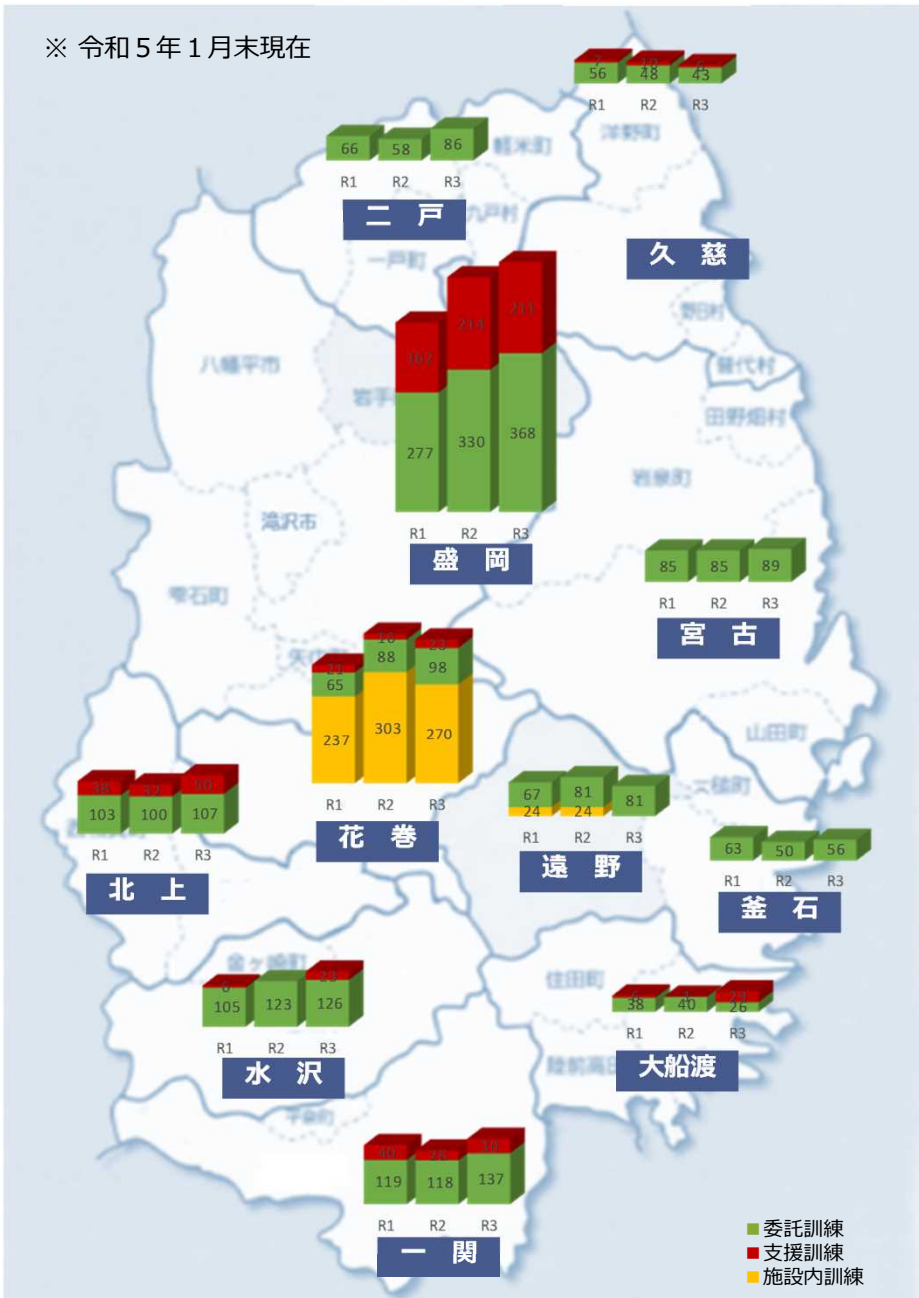
- 求人ニーズに即した訓練内容になっているか要検討
- 就職支援策に課題がないか、強化する必要があるか要検討

就職率 低

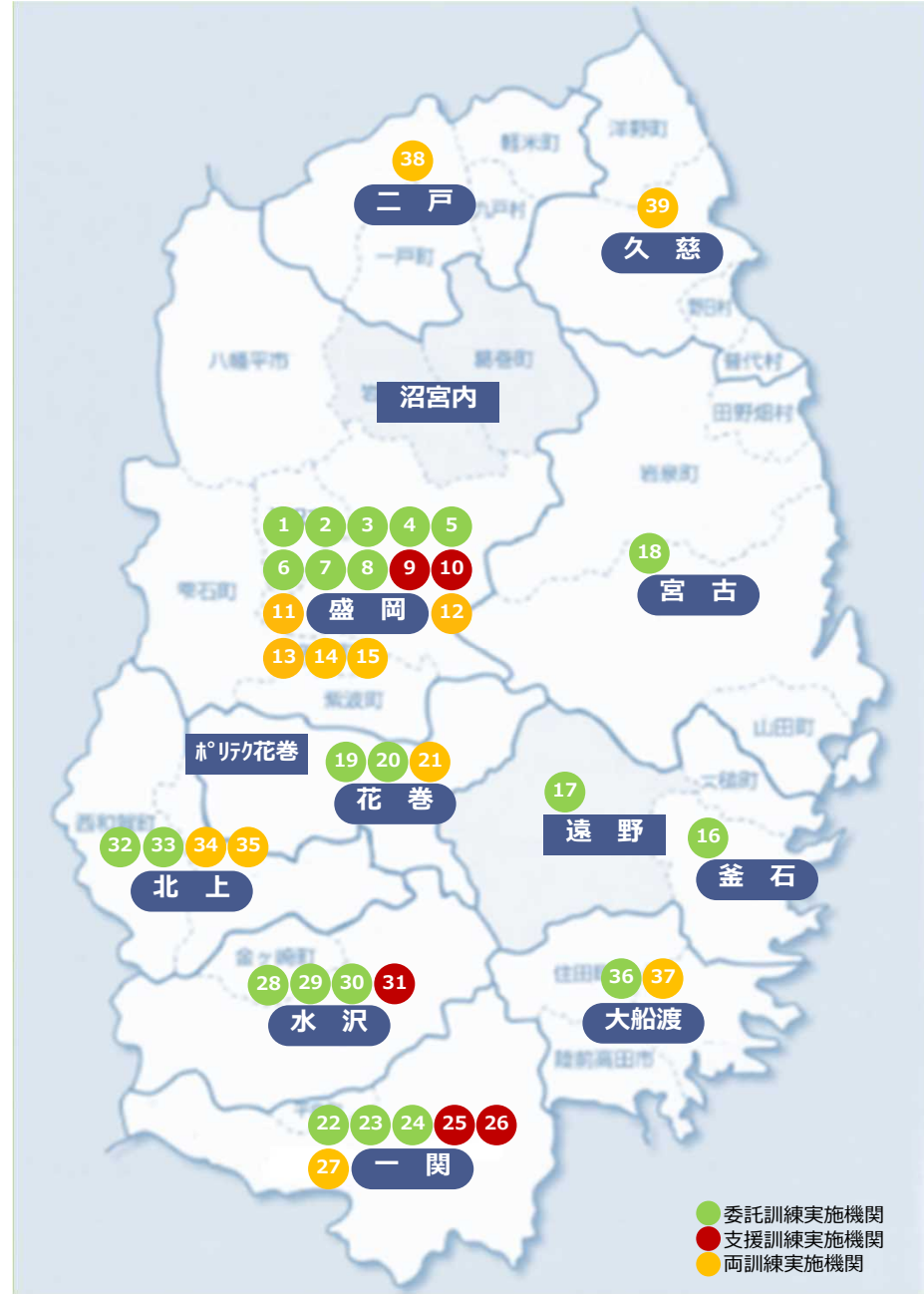
# 7. ハロートレーニング（離職者向け）実施状況（地域別）

○ハロートレーニング受講者の状況（令和元年度～令和3年度開講分）

※ 令和5年1月末現在



○令和4年度 ハロートレーニング実施機関（令和4年4月～令和5年1月開講分）



- 【盛岡地区】**
  - 1 (株)岩手ソフトウェアセンター
  - 2 大原スポーツ公務員専門学校盛岡校
  - 3 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校盛岡
  - 4 北日本医療福祉専門学校
  - 5 北日本ヘア・スタイリストカレッジ
  - 6 菜園調理師専門学校
  - 7 (株)T. E. C.
  - 8 盛岡医療福祉スポーツ専門学校
  - 9 あっとほーむパソコン教室
  - 10 ハロー！パソコン教室盛岡南校
  - 11 (株)日建学院 盛岡校
  - 12 (株)トラパント
  - 13 (職)岩手中央職業訓練協会
  - 14 (有)ノーティ 盛岡本宮校
  - 15 (株)ニチイ学館
- 【釜石地区】**
  - 16 (職)釜石職業訓練協会
- 【遠野地区】**
  - 17 (職)遠野職業訓練協会
- 【宮古地区】**
  - 18 (職)宮古職業訓練協会
- 【花巻地区】**
  - 19 岩手美容美容専門学校
  - 20 (職)花巻職業訓練協会
  - 21 (有)ノーティ 花巻星が丘校
- 【一関地区】**
  - 22 修紅短期大学
  - 23 (職)東磐職業訓練協会
  - 24 (株)ニチイ学館 一関教室
  - 25 わかやまパソコン教室
  - 26 (株)エンプロイヤーサポート仙台
  - 27 (職)一関職業訓練協会
- 【水沢地区】**
  - 28 (職)江刺職業訓練協会
  - 29 (職)水沢職業訓練協会
  - 30 (株)ニチイ学館 水沢校
  - 31 日建学院 水沢校
- 【北上地区】**
  - 32 北上コンピュータ・アカデミー
  - 33 専修大学北上福祉教育専門学校
  - 34 (株)ニチイ学館 北上校
  - 35 (職)北上職業訓練協会
- 【大船渡地区】**
  - 36 (株)ニチイ学館 大船渡教室
  - 37 (職)気仙職業訓練協会
- 【二戸地区】**
  - 38 (職)二戸職業訓練協会
- 【久慈地区】**
  - 39 (職)久慈職業訓練協会



## 8. 短期間・短時間特例訓練の実施状況

<短期間・短時間特例訓練実施状況> ※ 令和5年1月末現在

- \* 委託訓練：5コース  
(盛岡2・花巻1・北上1・二戸1)  
定員 75名 定員充足率74.7%
- \* 求職者支援訓練：14コース  
(盛岡3・花巻1・一関3・水沢3・北上1・大船渡3)  
定員 210名 定員充足率53.3%
- \* 申込状況について

短期間・短時間特例訓練は、新型コロナウイルスの影響により休業を余儀なくされた方やシフトが減少したシフト制で働く方等が、仕事と訓練受講を両立しやすい環境整備を図ることを目的にコース設定を行ったが、想定した在職者からの申込みはなかった。

\* 周知広報の例 (募集チラシ)

**簿記も学べるOA事務科 (短期間)**  
 WORD  
 EXCEL  
 簿記  
 就職支援  
 職業人講話  
 受講料等 受講料は無料、テキスト代 5,610円(税込)は自己負担  
 募集期間 令和4年8月30日(火)～令和4年10月14日(金)  
 選考場所 訓練実施施設と同じ(大船渡市盛岡字どりり13-4)  
 選考日 令和4年10月20日(木) 9時30分～  
 選考方法 筆記試験(簡単な読み書き・計算)、面接試験(個別面談) ※筆記用具持参  
 選考結果通知日 令和4年10月25日(火) ※郵送通知  
 訓練期間 令和4年11月1日(火)～令和4年12月28日(水) ※裏面にカレンダー参照  
 訓練時間 9:10～15:50 (50分授業10分休憩、昼休憩60分)  
 訓練施設 気仙高等職業訓練校 ※無料駐車場 50台有  
 募集対象者 主として、新型コロナウイルスの影響を受けてシフトが減少した方や休業を余儀なくされている方など、在職中で訓練時間に配慮が必要な方など、この他、離職し求職活動中の方も応募できます。

**医療事務科 (短期間・短時間)**  
 募集期間 令和5年 11月4日(金)～12月19日(月)  
 訓練期間 令和5年 1月11日(水)～3月10日(金)  
 ※土日祝等は休み(裏面にスケジュール参照)  
 定員 15名  
 訓練場所 ニチイ学館 盛岡支店 10F・B1F  
 訓練時間 9:30～15:10  
 訓練費用 受講料無料  
 テキスト代 18,500円(税込)  
 選考方法 筆記試験・面接  
 特持物 鉛筆・消しゴム  
 黒ボールペン  
 対象者 主として新型コロナウイルスの影響を受けてシフトが減少した方、休業を余儀なくされた方など、在職中で訓練時間に配慮が必要な方など、この他、離職し求職活動中の方も応募できます。  
 感染対策 24時間換気、消毒機、アルコール板、サーモレータ設置、職員皆マスク着用及び記録、マスク着用(義務)をおこなっています。  
 問合せ ニチイ学館盛岡支店 田澤 高穂 平日9:00～17:15 019-621-5253  
 申込み・相談 ハロワーク盛岡3番窓口 019-624-8903

## 9. 託児サービス付き訓練の実施状況

<託児サービス付き訓練の実施状況> ※ 令和5年1月末現在

- \* 令和4年度 盛岡17コース 利用者 4名 花巻5コース 利用者 3名
- \* 令和3年度 盛岡9コース 利用者 2名 花巻3コース 利用者 1名

令和4年度における託児サービス付き訓練のコース別実施状況

種別	地区	訓練期間	訓練コース名	訓練施設	枠数	利用数
支援	盛岡	4/27 ~ 7/26	経理の基礎も学べる OA事務実践科	トラバンツ コンテンツスクール	3	0
委託	盛岡	5/25 ~ 8/24	IT実務科 (ビジネス実務コース)	有限会社ノーティ 盛岡本宮校	5	0
支援	盛岡	5/27 ~ 8/26	OA事務実践科	トラバンツ コンテンツスクール	3	0
委託	盛岡	5/27 ~ 8/26	OA実務科	日建学院盛岡校	5	1
委託	盛岡	6/14 ~ 9/13	OA実務科	トラバンツ コンテンツスクール	5	1
委託	盛岡	6/14 ~ 9/13	IT実務科 (グラフィックデザインコース)	トラバンツ コンテンツスクール	5	0
委託	盛岡	7/1 ~ 9/30	OA実務科	有限会社ノーティ 盛岡本宮校	5	1
委託	盛岡	7/29 ~ 10/28	OA実務科	トラバンツ コンテンツスクール	5	1
委託	花巻	8/5 ~ 11/4	経理・総務実務科	有限会社ノーティ 花巻星が丘校	5	1
支援	盛岡	8/29 ~ 12/28	Webデザイナー養成科	トラバンツ コンテンツスクール	3	0
支援	盛岡	9/16 ~ 12/15	グラフィックデザイン科	トラバンツ コンテンツスクール	3	0
支援	盛岡	9/20 ~ 12/23	じっくり学べるOA事務実践科	トラバンツ コンテンツスクール	3	0
委託	花巻	10/5 ~ 12/2	OA実務科(短期修得コース)	有限会社ノーティ 花巻星が丘校	5	0
委託	盛岡	10/7 ~ 12/6	OA実務科(短期修得コース)	有限会社ノーティ 盛岡本宮校	5	0
委託	盛岡	11/8 ~ 2/9	経理・総務実務科	有限会社ノーティ 盛岡本宮校	5	0
委託	盛岡	11/29 ~ 2/28	OA実務科 (CADデザインコース)	日建学院盛岡校	5	0
委託	花巻	12/13 ~ 3/10	OA実務科	有限会社ノーティ 花巻星が丘校	5	1
委託	盛岡	12/20 ~ 3/17	IT実務科 (グラフィックデザインコース)	トラバンツ コンテンツスクール	5	0
支援	花巻	1/18 ~ 3/17	短期でもちゃんと学べる!パソコン事務科 (短期間・短時間)	有限会社ノーティ 花巻星が丘校	3	1
委託	盛岡	1/20 ~ 3/17	OA実務科(短期修得コース)	有限会社ノーティ 盛岡本宮校	5	0
支援	盛岡	2/27 ~ 4/26	短期でもちゃんと学べる!パソコン事務科 (短期間・短時間)	有限会社ノーティ 盛岡本宮校	5	0
支援	花巻	3/22 ~ 5/19	短期でもちゃんと学べる!パソコン事務科 (短期間・短時間)	有限会社ノーティ 花巻星が丘校	3	0

※ 朱書きは今後の予定

# 10. 長期高度人材育成コースの推進

職業能力形成機会に恵まれなかった非正規雇用労働者等の方が国家資格等の取得により正社員就職を目指す訓練。

・令和5年度 定員 52名（令和4年度と同数）

令和4、5年度における長期高度人材育成コースの実施状況

	コース数 / 定員 / 入校者数		開講地区
	(令和5年度開講)	(令和4年度開講)	
介護福祉士	3コース / 12名 / -	3コース / 13名 / 7名	盛岡2、北上1
保育士	4コース / 16名 / -	4コース / 15名 / 16名	盛岡2、北上1 一関1
情報系	2コース / 6名 / -	2コース / 6名 / 3名	盛岡1、北上1
調理師	2コース / 4名 / -	1コース / 3名 / 8名	盛岡2
理容師	2コース / 4名 / -	2コース / 4名 / 2名	花巻1、一関1
美容師	4コース / 8名 / -	4コース / 8名 / 3名	盛岡1、一関2 花巻1
スポーツビジネス	1コース / 2名 / -	1コース / 3名 / 1名	盛岡1
計	18コース / 52名 / -	17コース / 52名 / 40名	

## 【取組状況】

就職率は、短期課程（3～6ヶ月程度）の離職者訓練に比べて高い状況にある一方で、募集期間が1ヶ月程度で2年間の長期の訓練としては求職者の検討期間が短いとの声があった。

このことから、関係機関と連携し、募集期間を約2ヶ月に延長。さらにハローワークやホームページ、SNSより周知を実施。また、在職中の方も退職後に応募できるよう考慮、選考結果発表時期を前倒した。

### ●周知用リーフレット

令和5年度4月開講！  
**介護福祉士や保育士の国家資格等取得し、正社員就職を目指しませんか**  
 長期高度人材育成コース（実施場所：県内の専門学校、短期大学など）  
 専門学校等で2年間のハローワークトレーニングです。  
 ※各コース若手定員数。令和5年度計画のための募集状況等により計画を変更する場合があります。

コース	訓練内容	実施地域
介護福祉士	介護福祉士の資格取得し、正社員就職を目指します。	盛岡・北上
保育士	保育士の資格取得し、正社員就職を目指します。	盛岡・一関
その他：システム開発・プログラマー 調理師、美容師、理容師、 スポーツトレーナー等	コースに応じた各種資格を 取得し、正社員就職を目指 します。	盛岡・花巻・ 北上・一関

訓練期間  
令和5年4月～令和7年3月（2年間）

受講料等  
受講料は無料（国が負担します）  
※国、県、市町村、材料費、資格取得等は自己負担  
（令和4年度実績：2年間で73,860円～）

主な受講資格（次のいずれにも該当する方）  
 ① ハローワークに求職の申し込みをし、受審結果、受審後又は受審後指示を受けられる方  
 ② 国家資格等の取得を目指し、訓練終了後3か月以内に正社員就職を目指す強い意思のある方  
 ③ ハローワークのキャリア・コンサルティングにより受講が必要と認められた方

受講までの流れ  
 ① 求職申込・職業相談 → ② ジョブ・カードの作成  
 ③ 受講申込 → ④ 訓練受講  
 ⑤ 受講あっせん → ⑥ 就職支援

募集期間は、令和5年2月14日までは、  
 まずは、最寄りのハローワークにお気軽にご相談ください！

訓練主体：若手県職工労働観光認定推進・雇用労働課 TEL 019-629-5585

### ●募集開始後（HP掲載内容）

厚生労働省  
 岩手労働局

長期高度人材育成コース

募集情報  
 ■令和5年度4月開講の募集情報 (PDF)  
 募集期間：令和5年2月15日（月）～令和5年2月14日（水）まで

コース

コース	訓練内容
介護福祉士職科	【日本看護協会認定】看護師（国家資格） 【国家資格取得後】介護福祉士（国家資格） 【国家資格取得後】介護福祉士（国家資格） 【国家資格取得後】介護福祉士（国家資格）
保育士職科	【日本保育協会認定】保育士（国家資格） 【国家資格取得後】保育士（国家資格） 【国家資格取得後】保育士（国家資格） 【国家資格取得後】保育士（国家資格）
コンピュータシステム科	【国家資格取得後】システムエンジニア（国家資格） 【国家資格取得後】システムエンジニア（国家資格） 【国家資格取得後】システムエンジニア（国家資格） 【国家資格取得後】システムエンジニア（国家資格）
調理師職科	【国家資格取得後】調理師（国家資格） 【国家資格取得後】調理師（国家資格） 【国家資格取得後】調理師（国家資格） 【国家資格取得後】調理師（国家資格）
美容師職科	【国家資格取得後】美容師（国家資格） 【国家資格取得後】美容師（国家資格） 【国家資格取得後】美容師（国家資格） 【国家資格取得後】美容師（国家資格）
理容師職科	【国家資格取得後】理容師（国家資格） 【国家資格取得後】理容師（国家資格） 【国家資格取得後】理容師（国家資格） 【国家資格取得後】理容師（国家資格）
スポーツトレーナー科	【国家資格取得後】スポーツトレーナー（国家資格） 【国家資格取得後】スポーツトレーナー（国家資格） 【国家資格取得後】スポーツトレーナー（国家資格） 【国家資格取得後】スポーツトレーナー（国家資格）

募集までの流れ  
 1. 求職申込・職業相談  
 2. ジョブ・カードの作成  
 3. 受講申込  
 4. 訓練受講  
 5. 受講あっせん  
 6. 就職支援

# 11. 令和4年度ハロートレーニング（離職者訓練以外）の実施状況

## (1) 公共職業訓練（学卒者訓練）

※令和5年1月末現在 / ( )内は令和3年度計

施設名	訓練課程	科名	R4定員	R4実績	R4充足率	R4就職率
産業技術短期大学校本校	専門課程	メカトロニクス技術科	40人(40人)	38人(35人)	95.0%(87.5%)	100.0%(100.0%)
		電子技術科	40人(40人)	38人(41人)	95.0%(102.5%)	93.3%(100.0%)
		建築科	40人(40人)	44人(40人)	110.0%(100.0%)	100.0%(100.0%)
		産業デザイン科	40人(40人)	41人(45人)	102.5%(112.5%)	76.2%(100.0%)
		情報技術科	40人(40人)	43人(44人)	107.5%(110.0%)	100.0%(95.8%)
	応用短期課程	産業技術専攻科	10人(10人)	3人(3人)	30.0%(30.0%)	100.0%(100.0%)
産業技術短期大学校水沢校	専門課程	生産技術科	40人(40人)	21人(25人)	52.5%(62.5%)	100.0%(100.0%)
		電気技術科	40人(40人)	20人(29人)	50.0%(72.5%)	100.0%(100.0%)
		建築設備科	40人(40人)	26人(29人)	65.0%(72.5%)	100.0%(100.0%)
千厩高等技術専門校	普通課程	自動車システム科	40人(40人)	29人(22人)	72.5%(55.0%)	100.0%(100.0%)
宮古高等技術専門校	普通課程	自動車システム科	30人(30人)	23人(17人)	76.7%(56.7%)	100.0%(100.0%)
		金型技術科	10人(10人)	6人(0人)	60.0%(0.0%)	100.0%(-)※
二戸高等技術専門校	普通課程	自動車システム科	40人(40人)	17人(22人)	42.5%(55.0%)	100.0%(100.0%)
		建築科	30人(30人)	16人(18人)	53.3%(60.0%)	88.9%(100.0%)
合計			480人(480人)	365人(370人)	76.0%(77.1%)	95.8%(99.4%)

※ 令和3年度の宮古高等技術専門校「金型技術科」の就職率については、入校生がないため就職率が出ないもの。



# 11. 令和4年度ハロートレーニング（離職者訓練以外）の実施状況

## (2) 公共職業訓練（在職者訓練）

※令和5年1月末現在 / ( )内は令和3年度計

施設名	実施回数	R4定員	R4実績	訓練科名
産業技術短期大学校本校	55回 (55回)	1,030人 (1,070人)	857人 (882人)	新入社員研修、クレーム対応ビジネスコミュニケーション、ISO9001内部監査員養成、シーケンス制御基礎、第一種電気工事士受験コース、Excelビジネス活用応用、SNSを活用した広告戦略、その他
産業技術短期大学校水沢校	19回 (18回)	415人 (395人)	272人 (244人)	若手社員研修、アサーションから学ぶコミュニケーション技法、ISO9001内部監査員養成、機械検査技能検定受験コース、その他
宮古高等技術専門学校	29回 (32回)	406人 (349人)	400人 (286人)	新入社員マナー、スタッフマネジメント、ISO14001内部監査員養成、シーケンス基礎、Excelビジネス活用応用、動画製作・編集、その他
二戸高等技術専門学校	22回 (25回)	218人 (360人)	218人 (235人)	管理監督者研修、職場のコミュニケーションクレーム対応、ISO9001内部監査員養成、Excelビジネス活用テクニック、その他
岩手職業能力開発促進センター (ポリテクセンター岩手)	57回 (47回)	540人 (470人)	331人 (304人)	生産技術科、電気技術科、制御技術科、建築科
合計	182回 (177回)	2,609人 (2,644人)	2,078人 (1,951人)	

# 11. 令和4年度ハロートレーニング（離職者訓練以外）の実施状況

## （3）生産性向上支援訓練

※令和5年1月末現在 / ( )内は令和3年度計

施設名	実施回数	R4定員	R4実績	コース名
岩手職業能力開発促進センター (ポリテクセンター岩手)	112回 (157回)	1,189人 (1,661人)	798人 (957人)	成果を上げる業務改善、現場職員のための組織行動力向上、企業価値を上げるための財務管理、事故をなくす安全衛生活動、品質管理基本、他

## （4）障がい者等に対する公共職業訓練の対象者数等

※令和5年1月末現在 / ( )内は令和3年度計

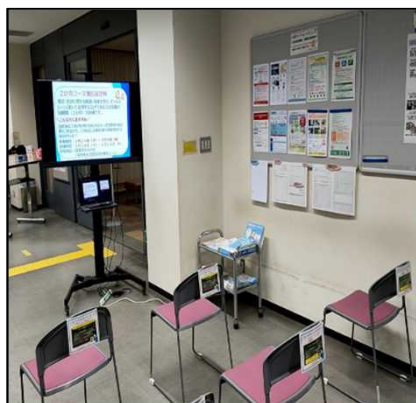
施設名	種別	R4定員	R4実績	コース名
産業技術短期大学校本校	委託	12人 (12人)	16人 (7人)	知識・技能習得訓練コース、実践能力習得訓練コース、特別支援学校早期訓練コース
産業技術短期大学校水沢校		12人 (12人)	1人 (10人)	
宮古高等技術専門学校		12人 (11人)	0人 (4人)	
合計		36人 (35人)	17人 (21人)	

# 12. ハロートレーニングの認知度向上に向けた周知・広報（令和4年度）

## ●ハローワークで行っている取組

- ・来所者へアンケートを実施し、実施訓練に興味を示した方に対しての個別勧奨、DMの送付
- ・職業訓練説明会、訓練体験型説明会、施設見学会の開催
- ・所内掲示板などを利用した周知・広報
- ・地域の広報誌を利用した周知

- ・モニターを利用した周知
- ・各ハローワークで発行している週間求人情報への掲載
- ・求職者マイページを利用した周知
- ・地域のFMラジオ（北上所）やケーブルテレビ（一関所）を利用した広報



モニターを利用した周知の例（左：花巻所 右：水沢所）

### ▶ 就職支援情報

市内には魅力ある働く場がたくさんあります。また、さまざまな職種  
の事業所があり、これらの事業所から多くの求人が出されています。  
市では、地域内への就職を支援促進するため、ハローワークで取り扱う  
職業訓練と、市のふるさとハローワーク、無料職業紹介所について紹介  
します。

ハロートレーニング(職業訓練)でスキルアップして、  
再就職を目指しませんか？

ハロートレーニング(職業訓練)のご案内

名称	受講申込期間	訓練期間	訓練施設
OA事務科	3月29日※ ～5月16日※	6月1日※ ～8月31日※	一関高等職業訓練 センター
簿記会計実務科	4月11日※ ～5月16日※	6月1日※ ～8月31日※	同管地域職業訓練 センター
医療事務科	4月18日※ ～5月24日※	6月9日※ ～9月8日※	ニチイ学館 (一関地区会館)
パソコン実務科	5月9日※ ～6月15日※	7月1日※ ～9月30日※	一関高等職業訓練 センター
介護パソコン科	6月6日※ ～7月11日※	7月28日※ ～10月27日※	同管地域職業訓練 センター

※受講料は無料。但しテキスト代、保険料、資格の受験料などは自己負担  
◎ハローワーク一関 ☎4135

2月の月別有効求人数  
（ハローワーク一関管内・一関市・平泉町）

**2935人**

（フルタイム：2033人 パート：902人）

（詳しい求人情報はこちら）  
ハローワークインターネットサービス 検索

※勤務地域を一関市で絞り込み  
検索ができます

一関市では、求職者やUターン希望者の就職活動や企  
業の人材確保を支援するため、求人・求職の紹介、あっせ  
んを行っています。下記の職業を登録して利用してください。  
再就職とも※※※※および年末年始は休業です。

【一関市ふるさとハローワーク】  
一関市役所千歳支所内に設置された、一関市とハロー  
ワークが連携して運営するハローワークの附属機関で、職  
業紹介や雇用相談を行っています。  
【受付時間】平日9:30～17:00 ☎2099

【一関市無料職業紹介所】  
一関市役所本庁5階工業労働課窓口で、市役所会計年度  
任用職員等の求人・求職の紹介、あっせんのほか、ハロー  
ワークの求人情報（オンライン提供）に同意した求人情報のみ）  
を紹介いたします。  
【受付時間】平日8:30～17:15 ☎8461

地域の広報誌を  
利用した周知の例  
（一関所）

所内掲示板などを利用した周知の例（左：二戸所 右：大船渡所）

訓練体験型説明会の  
実施例（久慈所）

## ハロトレ体験型説明会

### OA基礎科

定員：20名  
※事前申込必要

日時：令和4年11月25日（金）  
①9：30～10：30  
②11：00～12：00  
※各時間帯10名まで。申込み順となります。

会場：久慈高等職業訓練校

【説明会の内容】

- ①パソコン操作の体験
- ②職業訓練の種類と特徴
- ③職業訓練の効果（就職状況等）
- ④OA基礎科の募集内容

※雇用保険受給者の方は、求職活動に該当します。  
※参加希望の方は、説明会前日までにお申し込み下さい。

【申込先】ハローワーク久慈 訓練担当 TEL：0194-63-3374

18

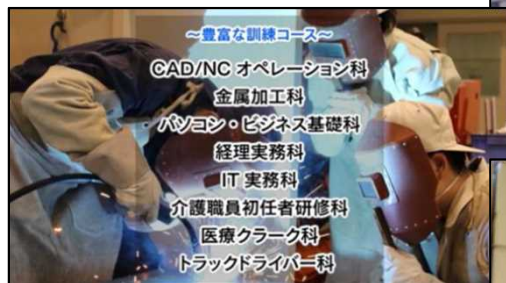


# 12. ハロートレーニングの認知度向上に向けた周知・広報（令和4年度）

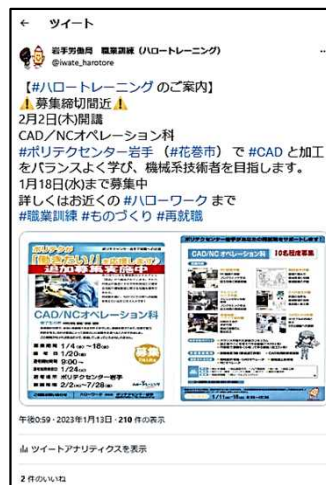
## ●労働局で行っている取組

- ・労働局ホームページへの掲載
- ・SNS（Instagram、Twitter）を利用し、訓練コースや求職者支援制度などを発信
- ・民放ラジオを利用した広報
- ・ポスターを利用した周知

- ・関係機関のHPへ周知用バナーを掲載  
（バナー掲載数17か所、労働局HPへのリンク掲載数13か所）
- ・ハロートレーニングPRのテレビコマーシャルの放映
- ・ポケットティッシュによる広報



テレビコマーシャルの放映例



SNSを利用した周知  
（左：Twitter、上：Instagram）



ポケットティッシュの  
配架による広報



令和5年3月●日

岩手県  
岩手労働局  
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構岩手支部

## 1 総説

### (1) 計画のねらい

この計画は、職業能力開発促進法（昭和44年法律第64号）に基づき実施する公共職業訓練（離職者訓練、在職者訓練、学卒者訓練、障がい者等に対する訓練）及び職業訓練の実施等による特定求職者の就職の支援に関する法律（平成23年法律第47号。以下「支援法」という。）第2条に規定する特定求職者（以下「特定求職者」という。）に対する支援法第4条第1項の規定により厚生労働大臣の認定を受けた職業訓練（以下「求職者支援訓練」という。）について、国及び岩手県が一体となって、地域の職業訓練ニーズを踏まえた職業訓練受講の機会を十分に確保し、実施するための必要な事項を定めたものである。

### (2) 計画期間

計画期間は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までとする。

### (3) 計画の改定

この計画は、職業訓練の実施状況等を踏まえ、改定する。

## 2 労働市場の動向と課題等

### (1) 労働市場の動向と課題

有効求人数は、コロナ禍で大幅に減少していたが、令和4年4月以降、自動車・半導体関連産業や食料品製造を中心とした製造業のほか、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けてきた宿泊・飲食業、生活関連サービス業など多くの産業で求人数の増加傾向が続いており、持ち直しの動きに広がりが見られる。

有効求職者数をみると、経済活動の活発化に伴い、在職者を中心に求職活動意欲に高まりが見られる一方、事業主都合離職者は落ち着いた状況にあり、コロナ禍における雇用調整助成金等の各種雇用維持施策の効果が続く中、有効求職者数に大きな動きはみられない。

そうした状況から、令和4年平均の有効求人倍率（原数値）は1.34倍と、令和3年平均の1.19倍を上回る状況となるなど、令和元年（コロナ禍前）平均の1.39倍までには回復していないものの、県内の雇用情勢は緩やかな回復傾向にある。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染再拡大に加え、物価上昇や米欧中経済の減速懸念など、景気を下押しさせる要因も多く、雇用情勢への影響を十分注意してみていく必要がある。

また、建設、保育、介護等の分野では人手不足の状況が続いており、DX等の進展のなかデジタル分野への重点化を図ることや就職氷河期世代の安定就労に係る支援の取り組みも引き続き求められている。

### (2) 令和4年度における公的職業訓練をめぐる状況

令和4年4月から令和4年12月までの、新規求職者は43,675人であり、そのうち特定求職者に該当する可能性のある者は19,389人である。

令和4年度の職業訓練の受講者は次のとおり。（令和5年1月末日現在）

- ・公共職業訓練（離職者訓練）
  - 県立校（委託訓練） 1,150人
  - 機構（施設内） 245人
- ・求職者支援訓練 350人
  - 基礎コース 51人
  - 実践コース 299人
- ・公共職業訓練（在職者訓練）
  - 県立校 1,747人
  - 機構 331人（生産性向上支援訓練除く／生産性向上支援訓練798人）
- ・公共職業訓練（学卒者訓練）
  - 県立校 365人（令和4年10月末日現在）
- ・公共職業訓練（障がい者等訓練）
  - 県立校（委託訓練） 17人（令和5年1月末日現在）

令和4年度の職業訓練の就職率は次のとおり。（令和5年1月末日現在）

- ・公共職業訓練（離職者訓練）
  - 県立校（委託訓練） 75.9%
  - 機構（施設内） 80.3%
- ・求職者支援訓練
  - 基礎コース 81.8%（雇用保険適用就職率 77.8%）
  - 実践コース 81.1%（雇用保険適用就職率 68.6%）
- ・公共職業訓練（学卒者訓練）
  - 県立校 95.8%
- ・公共職業訓練（障がい者等訓練）
  - 県立校（委託訓練） 37.5%

※ 「県立校」は県立職業能力開発施設、「機構」は独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構岩手支部を示す。

### 3 計画期間中の公的職業訓練の実施方針

#### (1) 公共職業訓練（離職者等訓練）

新型コロナウイルス感染症による雇用情勢への影響、これに加えて、従前からの建設、保育、介護等の人手不足分野への就職促進も念頭に置き、以下に掲げる職業訓練を、公共職業安定所等と連携し、県全域で実施する。

岩手県では、地域の訓練ニーズ等を把握して実施地区や訓練コース等を設定するとともに、令和4年度の訓練規模を維持しつつ、母子家庭の母等を対象とした訓練コースや託児サービス付きの訓練コースのほか、人手不足が顕著な保育及び介護分野の訓練コースや基礎的ITスキルを習得するためのカリキュラムを盛り込んだ訓練コースに加え、IT資格を取得して就職を目指す訓練コース等を設定する。このほか、介護福祉士、保育士及び企業が求める国家資格等の資格取得を目指す2年間の長期訓練コースを引き続き設定する。

また、職業能力開発の主管室である定住推進・雇用労働室、産業技術短期大学校本校（矢巾町）、同校水沢校（奥州市）、宮古高等技術専門校（宮古市）及び二戸高等技術専門校（二戸市）を、受講指示等を受けた訓練受講者に対して「職業訓練受講指示要領」2に定める職業訓練を行う公共職業能力開発施設とし、専修学校等の民間教育訓練機関及び職業訓練法人に委託して実施する。

- ・ 離職者等を対象とした訓練
- ・ 企業実習を通じた実践力の習得が必要な求職者を対象とした訓練
- ・ 母子家庭の母等を対象とした訓練

また、(独)高齡・障害・求職者雇用支援機構岩手支部では、公共職業安定所等との連携を密にし、訓練受講者の確保及び就職への支援強化を図るとともに、多様なニーズに対応するために、システム・ユニット訓練を展開すると共に、習得度の確認を図る。さらには、より効率的かつ効果的な質の高い職業訓練を行うため、離職者訓練修了者の就職先事業所に対するヒアリング調査及び離職者訓練受講者に対するアンケート調査を実施する。

## (2) 求職者支援訓練

基礎的能力を習得する職業訓練（基礎コース）及び実践的能力を習得する職業訓練（実践コース）を設定する。

訓練の設定に当たっては、成長分野や人材不足分野とされている分野・職種に重点を置くとともに、地域における産業の動向及び求人ニーズを踏まえたものとする他、育児中の女性等で再就職を目指す者、未就職のまま卒業することとなった新規学卒者、コミュニケーション能力等の課題を有する生活困窮者、さらには短時間労働者等の不安定就労者、就職氷河期世代の者のうち不安定な就労に就いている者や無業者の者等である対象者について、その特性・訓練ニーズに応じた職業訓練の設定にも努めることとする。特に出産・育児を理由とする離職者については、育児と職業訓練の両立を支援するため、託児サービス付き訓練コース及び短時間の訓練コースの設定を促進する。

就職氷河期世代に係る訓練については、就職氷河期世代への支援を協議する都道府県レベルのプラットフォーム（行政機関・労使団体・福祉機関・就労支援機関・訓練機関等を構成員として設置）とも連携を図るとともに、これまでの実施状況を踏まえて短期間での取得が可能で訓練期間の下限を緩和（訓練期間2か月程度）した「期間緩和コース」を主軸とする訓練コースの設定に努め、安定就労に有効な資格等の習得を支援する。

なお、就職氷河期世代に対する訓練については、求職者支援訓練での対応を想定しているが、個々の状況により離職者等訓練へも誘導し、柔軟な運用に努めるものとする。

## (3) 公共職業訓練（在職者訓練）

在職者が、技術革新や産業構造の変化等に対応する高度な技能と知識を習得するために、地域企業の訓練ニーズに対応した在職者訓練を的確かつ効率的に実施する。

岩手県では、産業技術短期大学校本校（矢巾町）、同校水沢校（奥州市）、宮古高等技術専門学校（宮古市）及び二戸高等技術専門学校（二戸市）で地域企業の訓練ニーズに対応した在職者訓練を実施する。

(独)高齡・障害・求職者雇用支援機構岩手支部でも、人材育成ニーズを踏まえ、中小企業等を主な対象として、ものづくり分野を中心に真に高度な訓練コースを設定・実施する。

特に、産業界又は地域の事業主団体ニーズに応じた訓練コースの設定・実施・支援を実施するとともに、在職者のキャリア形成の効果的な促進のために、相談援助・情報提供の拡充を図る。

また、分野を問わず、人手不足に悩む中小企業等の生産性の向上を図るための生産性向上支援訓練も実施する。

## (4) 公共職業訓練（学卒者訓練）

産業技術短期大学校（矢巾町）及び産業技術短期大学校水沢校（奥州市）においては、技術・技能の高度化に対応した実践的な技術者の育成を行うとともに、企業連携によるオーダーメイドカリキュラムと、生産工学・品質保証技術のカリキュラムにより、生産技術部門の

リーダー育成を行う。

千厩高等技術専門校（一関市）では自動車整備の分野、宮古高等技術専門校（宮古市）では自動車整備及び金型技術の各分野、二戸高等技術専門校（二戸市）では自動車整備及び建築施工の各分野の技術・技能の高度化・多様化に対応できる技能者の育成を行う。

#### （５）公共職業訓練（障がい者訓練）

障がい者の就業支援に資するため、厚生労働省が推進する「障害者の多様なニーズに対応した委託訓練事業」による職業訓練では、障がい者が住み慣れた地域で、企業や民間職業訓練法人等多様な委託先を活用した委託訓練を実施する。

県立拠点校（県内３校）に「障がい者職業訓練コーディネーター」及び「障がい者職業訓練コーチ」を配置し、制度周知や訓練生及び委託先の開拓、訓練生への就職支援等を強化し、効果的な職業訓練を実施する。

また、効果的な職業訓練の推進に重点を置きつつ、障がい者に対する職業訓練と自立支援との連携強化を図る。

### 4 計画期間中の公的職業訓練の対象者数等

#### （１）離職者に対する公的職業訓練

##### ア 離職者に対する公共職業訓練

施設名	種別	区分	延定員	訓練科名
産業技術短期大学校 本校	委託	離職者	485人	介護パソコン科、IT実務科、 グラフィックデザイン科 Webエンジニア科 介護福祉養成科、保育士養成科 等
		日本版DS	30人	
産業技術短期大学校 水沢校	委託	離職者	405人	
		日本版DS	0人	
宮古高等技術専門校	委託	離職者	245人	
		日本版DS	45人	
二戸高等技術専門校	委託	離職者	174人	
	委託	日本版DS	0人	
定住推進・雇用労働室	委託	離職者	166人	
岩手職業能力開発促進センター（ポリテクセンター岩手）	施設内	離職者	338人	
		橋渡し	30人	
合計		離職者	1,813人	
		日本版DS	75人	
		橋渡し	30人	
		合計	1,918人	

\*1 日本版DSは、日本版デュアルシステム（企業実習付き訓練）のこと。

\*2 橋渡しは、標準で6ヶ月の離職者訓練を効果的に受講するために必要な技能と知識を身につけることを目的として、6ヶ月の訓練の前に行う1ヶ月の訓練のこと。



## イ 求職者支援訓練

訓練の種類	割合	認定 上限値	新規参入の 上限	地域優先 共有枠
基礎コース	30%	261人	30% (78人)	盛岡地域・ その他の内 陸地域・沿 岸地域間 における基 礎コースの 割合を各3 分の1とし る。
実践コース	70%	609人	30% (182人)	
うち介護分野	20%	122人	基礎・実践コ ースの各 30%を上限 値とする。	
医療事務分野	10%	61人		
デジタル分野	16%	100人		
IT	11%	66人		
デザイン (Web系)	5%	34人		
その他	54%	326人		
合計	100.0%	870人		

### (地域優先共有枠)

求職者支援訓練の訓練コースは、就職率の実績が上位の訓練コースから認定されるため、状況によっては、訓練コースが特定に地域に偏する可能性がある。

このことから、いずれの地域においても、職務経験の浅い者等が職業訓練を通じ能力開発を行うことができるよう、基礎コース認定枠の地域間における均一化を図る。

なお、均一に設定した認定枠（地域優先枠）に残りが生じた場合は、県内全体で調整する。

### (認定上限値の繰越及び振替)

実践コースにおいて認定申請が「定員」を下回った等の事情により認定数が認定上限値を下回った場合の余剰定員は、同一認定単位期間の「その他」分野への振替を可能とする。

また、同一年度の次期以降の認定単位期間の同地域、同種別（基礎コース、実践コース）、同分野の認定上限値への振替も可能とし、第4四半期の認定申請に限り余剰定員の基礎コースと実践コース間の振替を可能とする。

### (その他)

就職氷河期世代対策実施分として、就職氷河期世代の者のうち不安定な就労に就いている者や無業状態の者など対象者の特性・訓練ニーズに応じた職業訓練を提供するため、実践コース609人のうち258人を上限として設定する。

### (認定単位期間)

1か月単位とする。

## ウ 職業訓練の効果的な実施のための取組

公共職業訓練の実施計画の策定、周知・広報をはじめ、受講者の募集、円滑かつ効果的な訓練の実施、訓練修了者の就職等を推進していくためには、国や県の関係行政機関はもとより、地域の訓練実施機関団体や労使団体の理解・協力が必要不可欠である。

また、訓練カリキュラム等の見直しも含め、訓練の実施結果や地域における人材ニーズ等を踏まえた検討・改善を図っていく上でも、横連携による不断の取組が必要であることから、令和5年度においては、関係者の連携・協力の下に地域の実情を踏まえた計画的かつ実効性のある職業訓練の推進に努めるため、岩手県地域職業能力開発促進協議会内にワーキンググループを設置し、公的職業訓練の効果検証を行う（労働局、県、機構）。

## (2) 在職者に対する公共職業訓練

### ア 公共職業訓練（在職者訓練）

施設名	実施回数	延定員	訓練科名
産業技術短期大学校本校	56回	1,048人	社員育成、生産・品質、機械・制御、電子・電気、IT・PC、建築・設備
産業技術短期大学校水沢校	23回	415人	社員育成、生産・品質、機械・制御、電子・電気、IT・PC、建築・設備
宮古高等技術専門校	22回	309人	社員育成、生産・品質、機械・制御、電子・電気、IT・PC、建築・設備
二戸高等技術専門校	22回	320人	社員育成、生産・品質、IT・PC、建築・設備
岩手職業能力開発促進センター（ポリテクセンター岩手）	53回	530人	機械系分野、電気・電子系分野、居住系分野
合計	176回	2,622人	

### イ 公共職業訓練（在職者訓練：生産性向上支援訓練）

施設名	実施回数	延定員	訓練科名
岩手職業能力開発促進センター（ポリテクセンター岩手）	61回	610人	生産現場の問題解決、成果を上げる業務改善、マーケティング志向の営業活動の分析と改善、相手に伝わるプレゼン資料作成等

## (3) 学卒者に対する公共職業訓練

施設名	訓練課程	科名	定員
産業技術短期大学校本校	専門課程	メカトロニクス技術科	40人
		電子技術科	40人
		建築科	40人
		産業デザイン科	40人
		情報技術科	40人
	応用短期課程	産業技術専攻科	10人
産業技術短期大学校水沢校	専門課程	生産技術科	40人
		電気技術科	40人
		建築設備科	40人

施設名	訓練課程	科名	定員
千厩高等技術専門学校	普通課程	自動車システム科	40人
宮古高等技術専門学校	普通課程	自動車システム科	30人
		金型技術科	10人
二戸高等技術専門学校	普通課程	自動車システム科	40人
		建築科	30人
合計			480人

#### (4) 障がい者等に対する公共職業訓練

施設名	種別	延定員	コース名
産業技術短期大学校本校	委託	22人	知識・技能習得訓練コース、実践能力習得訓練コース、特別支援学校早期訓練コース
産業技術短期大学校水沢校		11人	
宮古高等技術専門学校		11人	
合計		44人	

### 5 その他、職業能力の開発及び向上の促進のための取組等

#### (1) 地域におけるリスキングの推進に関する事業

D Xの加速化やテレワーク等による働き方の多様化、職業人生の長期化など、企業や労働者を取り巻く環境が変化する中で、労働者の学び・学び直しの必要性が高まっている。

企業における人への投資や労働者の主体的な能力開発を促進し、人手不足が深刻な分野をはじめ地域に必要な人材を育成・確保していくため、デジタル・グリーン等の成長分野に関するリスキングの推進に資する経営者等の意識改革・理解促進や在職者のリスキング支援などの事業に取り組む。

なお、地域におけるリスキングの推進に関する事業については、別途事業一覧を報告することとし、本計画に位置付けて実施するものとする。

#### (2) 受講生の能力及び適性に応じた公的職業訓練の実施

ジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングを主軸に、労働者のキャリア形成に資する情報提供及び相談援助に努め、受講生の能力及び適性に応じた公的職業訓練を実施するものとする。

なお、ジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングの着実な実施に資するため、「訓練受講希望者等に対するジョブ・カード作成支援推進事業」（委託事業）を活用した求職者に対する訓練説明会やセミナー等を積極的に開催する。

#### (3) 職業訓練担当者の資質向上

職業訓練の効果的な周知・広報、ハローワーク窓口での適切な誘導、訓練生に対する実効性のある就職支援等を積極的に推進するためには、職業訓練担当者の資質向上を図る必要があることから、行政機関、訓練実施機関が各々抱える不安や問題等の把握に努めるとともに、それらの解消・軽減を図るべく研修機会の提供に努める。

## ハロートレーニング（離職者向け）の5年度計画

離職者向けの公的職業訓練の分野別の計画

岩手労働局

		全体計画数	公共職業訓練 (都道府県)	公共職業訓練 (高齢・障害・求職者雇 用支援機構)	求職者支援訓練
分野		定員	定員	定員	定員
公共職業訓練（離職者向け） + 求職者支援訓練（実践コース）	IT分野	239	173	0	66
	営業・販売・事務分野	1118	807	0	311
	医療事務分野	145	84	0	61
	介護・医療・福祉分野	312	190	0	122
	農業分野	0	0	0	0
	旅行・観光分野	0	0	0	0
	デザイン分野	239	205	0	34
	製造分野	202	0	202	0
	建設関連分野	191	40	136	15
	理容・美容関連分野	17	17	0	0
	その他分野	64	34	30	0
求職者支援訓練（基礎コース）		261	0	0	261
合計		2788	1550	368	870
(参考) デジタル分野		371	271	0	100

※ 「定員」とは、当該年度中における開講コースの定員の数。

# ワーキンググループによる訓練効果の把握・検証について

## 1 目的

公的職業訓練効果検証ワーキンググループ（以下「WG」という。）は適切かつ効果的な職業訓練を実施していくため、訓練効果を把握・検証し、訓練カリキュラム等の改善を図ることとする。

## 2 WGの構成員

岩手労働局、岩手県、（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構岩手支部

## 3 検証手法

検証対象の訓練分野を選定し、公的職業訓練の訓練修了者、訓練修了者の採用企業及び訓練実施機関へのヒアリングを実施。その結果を検証し、改善策（案）を検討。

### ヒアリング内容

- ◎訓練実施機関へのヒアリング
  - ・工夫している点
  - ・キャリアコンサルティングの状況
- ◎訓練修了者・採用した企業へのヒアリング
  - ・就職後に役立った技能
  - ・訓練において習得しておくことが望ましいスキル

## 4 令和5年度検証対象分野

- 検証対象分野：「営業・販売・事務分野」
- 検証分野選定理由：応募倍率が高いが就職率は低い。求人ニーズに即した内容になっているか、就職支援策に課題がないか等、訓練効果の把握・検証の必要があるため。
- 検証対象コース：3コース、訓練実施機関3者、各コース訓練修了者1人以上、当該修了者を採用した企業1社以上

## 公的職業訓練効果検証ワーキンググループ実施要領

## 1 目的

公的職業訓練効果検証ワーキンググループ（以下「WG」という。）は、適切かつ効果的な職業訓練を実施していくため、個別の訓練コースについて、訓練修了者や採用企業からのヒアリングも含め、訓練効果を把握・検証し、訓練カリキュラム等の改善を図ることとする。

## 2 WGの構成員

「地域職業能力開発促進協議会設置要綱策定要領」の1（3）の構成員のうち、都道府県労働局、都道府県及び独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構とし、必要に応じて、地域職業能力開発促進協議会（以下「協議会」という。）構成員の中から任意の者を追加する。

なお、協議会の構成員として委任した者と同一のものとする必要はなく、構成員の機関・団体の職員等で差し支えないが、協議会の事務に従事する者として、正当な理由なく、協議会の事務に関して知り得た秘密を漏らしてはならない。

## 3 検証手法

検証手法は、公的職業訓練の訓練修了者、訓練修了者の採用企業及び訓練実施機関に対するヒアリングにより行うものとする。

なお、各種データの統計処理による分析については、訓練カリキュラムの改善に資する場合に限り各協議会で実施することも可能であるが、都道府県労働局職員以外の者が直接関わって分析を実施する場合は、①分析するデータの種類・範囲、②分析手法、③分析の実施者等を明らした上で、事前に、本省に協議すること。

## 4 WGの具体的な進め方

## (1) 検証対象コースの選定

ア 予め協議会にて検証対象となる訓練分野を選定しておき、WGでは当該訓練分野の中で訓練修了者が比較的多い訓練コースを3コース（ただし、異なる訓練実施機関が実施するものとする。）以上選定する。

イ 検証対象は、アで選定したコースの訓練実施機関と、各訓練コースにつき訓練修了者1人以上、当該訓練修了者を採用した採用企業1社以上とする。具体的には、3コースを選定すると、訓練実施機関3者、訓練修了者3人以上及び採用企業3社以上が対象となる。

なお、ヒアリングの対象とする訓練修了者の選定にあたっては、同一の性別又は年齢層に偏らないよう配慮すること。

その他、就職氷河期世代、就職困難者、ひとり親等といった様々な事情を抱える方々について検証することも有意義であることから、訓練修了者のうちの一人は、例えば離職期間が長い、離転職を繰り返している等の履歴のある者をできる限り選定することが望ましい。

## (2) ヒアリングの内容等

ア ヒアリングは直接又はweb会議のいずれでも差し支えない。

イ ヒアリング内容は以下の項目を必須とし、協議会独自に質問項目を追加しても差し支えない。

### ① 訓練実施機関へのヒアリング

- ・訓練実施にあたって工夫している点
- ・訓練実施機関が行っているキャリアコンサルティングの状況
- ・訓練実施にあたっての国への要望、改善して欲しい点

### ② 訓練修了者へのヒアリング

※訓練機関の接遇など、受講中の満足度ではないことに留意。

- ・訓練内容のうち、就職後に役に立ったもの
- ・訓練内容のうち、就職後にあまり活用されなかったもの
- ・就職後に感じた、訓練で学んでおくべきであったスキル、技能等

### ③ 訓練修了者を採用した企業へのヒアリング

- ・訓練により得られたスキル、技能等のうち、採用後に役に立っているもの
- ・訓練において、より一層習得しておくことが望ましいスキル、技能等
- ・訓練修了者の採用について、未受講者（未経験者）の採用の場合と比較して期待していること（同程度の経験等を有する者同士を比較。採用事例がない場合は想定）

## (3) ヒアリングを踏まえた効果検証等

(2)のヒアリングを踏まえ、調査した訓練コースを含む分野全体において、訓練効果が期待できる内容及び訓練効果を上げるために改善すべき内容について整理する。

## (4) 効果検証結果を踏まえた検討

(3)の効果検証結果を踏まえ、訓練カリキュラム等の改善促進策（案）等を検討し、協議会への報告事項を整理する。

### 【訓練カリキュラムの改善促進策（例）】

○ 委託訓練について、

- ・説明会資料又は委託要綱等の内容に追加

- ・ 公募条件又は入札の加点要素として付加
  - 汎用性の高い訓練（就職支援）内容について、
    - ・ 求職者支援訓練において、訓練実施期間中に独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が行う実施状況の確認の際に周知
    - ・ 申請・認定事務の際に周知
    - ・ 求職者支援訓練の実施機関開拓の際に周知
- (5) 協議会への報告
- WGの効果検証結果及び訓練カリキュラムの改善促進策（案）等については協議会に報告する。



地域職業能力促進協議会に係る作業等

	地域職業能力開発促進協議会	ニーズを踏まえた訓練の設定 (協議会での協議等)	効果検証 (ワーキンググループ(WG)での作業)	【参考】 中央職業能力開発促進協議会	
4月	協議会開催に向けた都道府県等の打合せ等	人材ニーズ情報収集(常時)	WGによる効果検証		
5月			検証対象コースの選定		
6月			ヒアリング ○訓練実施機関 ○訓練修了者 ○採用企業		
7月					
8月			ヒアリング結果の整理		
9月		前年度の訓練実績の把握 次年度計画のたたき台作成	訓練効果の把握・検証(案)取りまとめ	中央協議会①開催	
10月		協議会①開催	次の事項の協議を実施。 ①地域の人材ニーズの把握 ②公的職業訓練の実施状況(前年度計画と実績の比較) ③訓練効果の把握・検証(WGの結果報告) ④次年度地域職業訓練実施計画の方針等		
11月					
12月					
1月		今年度の訓練実績の把握		中央協議会②開催	
2月	協議会②開催	次の事項の協議を実施。 ①公的職業訓練の実施状況の(今年度の進捗) ②次年度地域職業訓練実施計画(案) ③効果検証(分野決定等)等			
3月					

・ ・ 労働局の作業

令和5年度 岩手県地域職業訓練実施計画策定方針（案）

項 目	令和4年度 岩手県地域職業訓練計画策定方針	令和5年度 岩手県地域職業訓練計画策定方針（案）
<b>公共職業訓練（離職者訓練）</b>		
①対象者数・就職率目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内訓練：368人</li> <li>・委託訓練：1,620人 うち長期高度人材育成コース 52人 うち日本版デュアルシステム 105人</li> <li>・就職率目標：施設内訓練80% 委託訓練75%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内訓練：368人</li> <li>・委託訓練：1,550人 うち長期高度人材育成コース 52人 うち日本版デュアルシステム 75人</li> <li>・就職率目標：施設内訓練80% 委託訓練75%</li> </ul>
<b>求職者支援訓練</b>		
①訓練規模・就職率目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定上限値 870人 うち就職氷河期対策実施分及び短期・短時間特例訓練実施分157人以上</li> <li>・雇用保険適用就職率目標：基礎コース 58% 実践コース 63%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定上限値 870人 うち就職氷河期対策実施分及び短期・短時間特例訓練実施分258人以上 ※ 厚労省からの配分案</li> <li>・雇用保険適用就職率目標：基礎コース 58% 実践コース 63%</li> </ul>
②基礎と実践の割合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎コース30%（261人）</li> <li>・実践コース70%（609人）</li> </ul>	昨年と同等
③実践コースの重点 （全国共通分野）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践コース 訓練認定規模の70%（609人） うち全国共通分野 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護系 20%（122人）</li> <li>・ 医療事務系 10%（61人）</li> <li>・ デジタル系 15%（91人）</li> <li>・ その他 55%（335人）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践コース 訓練認定規模の70%（609人） うち分野別は昨年度と同等 ただし、デジタル分野は100人 ※ 厚労省からの配分案</li> </ul>
④新規参入の上限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎コース 上限値 30%（78人）</li> <li>・実践コース 上限値 30%（182人）</li> </ul>	昨年と同等
⑤地域ニーズ枠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛岡地域、その他の内陸地域、沿岸地域間における基礎コースの割合を各3分の1とする。</li> </ul>	昨年と同等

参考1

# 令和4年度 生産性向上支援訓練 参考資料

1. 生産性向上支援訓練 実施状況
2. 生産性向上支援訓練（ミドルシニアコース、DX対応コース） 実施状況
3. 生産性向上支援訓練 事業主アンケート意見表
4. 生産性向上支援訓練の課題と対応方針

令和5年3月1日（水）

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構岩手支部  
岩手職業能力開発促進センター 生産性向上人材育成支援センター

令和5年1月末現在

生産性向上支援訓練の実施状況

受講者満足度（訓練全体）：98.2%（目標：90%以上）  
 事業主評価（訓練全体）：92.7%（目標：85%以上）

受講者数：622人（目標：470人）  
 達成率：132.3%

生産性向上支援訓練

実施方式	設定コース数	コース名（設定数）	定員	受講者数
オーダー方式	28コース	品質管理実践（1） 提案型営業手法（1） 業務効率向上のための時間管理（1） 企画力向上のための論理的思考法（1） 効率よく分析するためのデータ集計（1） ものづくりの仕事のしくみと生産性向上（1） 表計算ソフトを活用した効果的なデータの可視化（1） 大量データ処理に活用するデータベース（応用編）（1） 大量データ処理に活用するデータベース（基本編）（1） 品質管理基本（2） 組織力強化のための管理（2） 管理者のための問題解決力向上（2） ピボットテーブルを活用したデータ分析（2） 表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化（2） 職場のリーダーに求められる統率力の向上（3） 現場社員のための組織行動力向上（6）	332	271
オープン方式	67コース	品質管理実践（1） 生産性分析と向上（1） 生産現場の問題解決（1） 原価管理とコストダウン（1） SNSを活用した情報発信（1） 相手に伝わるプレゼン資料作成（1） 実務に基づくマーケティング入門（1） 表計算ソフトを活用した業務改善（1） 業務効率を向上させるワープロソフト活用（1） 表計算ソフトを活用した効果的なデータの可視化（1） 高年齢労働者のための安心・安全な職場環境の構築（1） 提案型営業手法（2） 管理者のための問題解決力向上（2） 現場社員のための組織行動力向上（2） 効率よく分析するためのデータ集計（2） 継続雇用者のキャリア形成と管理者の役割（2） 職場のリーダーに求められる統率力の向上（2） 生産計画と工程管理（3） 成果を上げる業務改善（3） 組織力強化のための管理（3） 集客につなげるホームページ作成（3） 業務に役立つ表計算ソフトの関数活用（3） ピボットテーブルを活用したデータ分析（3） ものづくりの仕事のしくみと生産性向上（3） 表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化（3） 品質管理基本（4） 事故をなくす安全衛生活動（4） 業務効率向上のための時間管理（4） 企業価値を上げるための財務管理（8）	670	351
合計	95コース		1,002	622

※受講者満足度は令和4年12月末、事業主評価は令和4年9月末までに実施済みのもの

生産性向上支援訓練の実施状況（ミドルシニアコース及びDX対応コース）

令和5年1月末現在

受講者数：63人（目標：40人）  
達成率：157.5%

生産性向上支援訓練（ミドルシニアコース）

実施方式	設定コース数	コース名（設定数）	定員	受講者数
オーダー方式	4コース	効果的なOJTを実施するための指導法（1） 経験を活かした職場の安全確保（対策編）（1） 経験を活かした職場の安全確保（未然防止編）（1） 中堅・ベテラン従業員による組織の活性化のための相談技法（1）	54	34（17）
オープン方式	15コース	作業手順の作成によるノウハウの継承（1） 職業能力の体系化と人材育成の進め方（1） ノウハウの継承のための研修講師の育成（1） チーム力の強化と中堅・ベテラン従業員の役割（1） フォローシップによる組織力の向上（2） 効果的なOJTを実施するための指導法（2） 後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割（2） 中堅・ベテラン従業員による組織の活性化のための相談技法（2） 中堅・ベテラン従業員のためのキャリア形成（3）	150	88（46）
合計	19コース		204	122（63）

※（ ）は45歳以上の受講者数【内数】

受講者数：54人（目標：60人）  
達成率：90.0%

生産性向上支援訓練（DX対応コース）

実施方式	設定コース数	コース名（設定数）	定員	受講者数
オーダー方式	5コース	ビックデータ活用（1） AI（人工知能）活用（1） DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進（1） DX（デジタルトランスフォーメーション）の導入（2）	64	14
オープン方式	15コース	脅威情報とセキュリティ対策（1） 情報漏えいの原因と対応・対策（1） テレワークに対応したセキュリティ対策（1） チャンスをつかむインターネットビジネス（1） マーケティング志向の営業活動の分析と改善（1） DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進（1） ワイヤレス環境に必要な無線LANとセキュリティ（1） 導入コストを抑えるクラウド会計・モバイルPOSレジ活用（1） テレワーク活用（2） ITツールを活用した業務改善（2） 社内ネットワークに役立つ管理手法（3）	150	40
合計	20コース		214	54

生産性向上支援訓練事業主アンケート意見表

No	生産性向上等につながった理由(複数回答)	回答数
1	コストの低下につながった、又はその可能性がある	4
2	製品やサービスの品質が向上した、又はその可能性がある	10
3	習得した内容が他の従業員に伝達され組織全体のスキルアップにつながった	24
4	事業の拡大や新たな分野への展開が見込まれる	6
5	受講者の意識の変化が見られた又はその可能性がある	78
6	後輩従業員等への指導力が向上した、またはその可能性がある	36
7	技能やノウハウが継承された、又はその準備を行うことができた	7
8	職場における課題が解決した、又は解決が見込まれる	27
9	生産性向上につながった	12
10	業務のIT化を進めるきっかけとなった	11

○有効回答事業主数:124事業主

令和4年度第2四半期まで

事業主アンケート意見表

No.	コース名	生産性向上等につながらなかった理由
1	表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化	・内容が難しく演習の時間が必要だった。身の回りにあるもので例題を考える時間がほしかった。もっとポイントをしぼって1つ1つ使えるようになりたかった。
2	ピボットテーブルを活用したデータ分析	・業務内容が変更になった。
3	表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化	・仕組みはわかったが、業務でどのように活かすかがイメージがわからなかった。テキストを終えることが目的となっており、実践的ではなかった。
4	業務効率向上のための時間管理	・学んだ事は頭ではわかっているのですが、実際に行動、実践するには時間がかかりそうです。
5	集客につなげるホームページ作成	・本人の自覚、問題意識が不足していたと思われる。

## 生産性向上支援訓練の課題と対応方針

## 令和4年度の主な取り組み

- 1 職業訓練指導員との計画的な事業所訪問による個別企業の課題の聞き取りと生産性向上支援訓練の紹介
- 2 ホームページへ訓練コース情報及び個別リーフレットを掲載
- 3 毎月約800社へのダイレクトメールによる周知
- 4 高齢・障害者業務課との連携（65歳超雇用推進プランナーが企業訪問時にミドルシニアコースの広報を実施）
- 5 今年度より新設されたDX対応コースの計画目標達成のため、令和3年度に実施した事業主アンケート結果を分析、DX関連コースの受講を希望する事業所へ訪問、オーダーコースの受講勧奨を実施

## 計画目標値

## 1. 生産性向上支援訓練

令和4年度	470人	⇒	受講者数（見込含む）	662人
令和5年度	470人			

## 2. 生産性向上支援訓練（ミドルシニアコース）

令和4年度	40人	⇒	受講者数（見込含む）	126人【70人】
令和5年度	40人		【】は45歳以上	

## 3. 生産性向上支援訓練（DX対応コース）

令和4年度	60人	⇒	受講者数（見込含む）	100人
令和5年度	100人			

## 課題と方針

令和5年度は「DX対応コース」の計画目標値が令和4年度よりも増加することから、企業訪問等による一層の制度周知等を含めた広報の強化を図り、目標の達成に努めたい。



# 職業訓練ニーズについて

岩手県地域職業能力開発促進協議会  
岩手労働局職業安定部訓練室

(令和 5 年 3 月)

## 職業訓練ニーズに関するアンケート調査結果について

### 1. 訓練希望者エントリーシート

#### ●概要

令和3年4月1日より各八ローワークの訓練窓口(コロナ対応ステップアップ窓口)で初めて訓練の相談をする方に記載を求めたもの(エントリーシートは、全国統一様式)。

#### ●回答数

令和4年4月1日～令和5年1月31日まで 2,754件

### 2. 職業訓練ニーズに関するアンケート調査

#### ●概要

令和4年度において、希望する訓練の内容、期間、受講希望の有無を調査したもの。求職者・企業とも各安定所ごとに100件(出張所は50件)を回収目標とした。実施期間は令和4年7月19日～9月16日。

#### ●回答数

求職者 1,084件

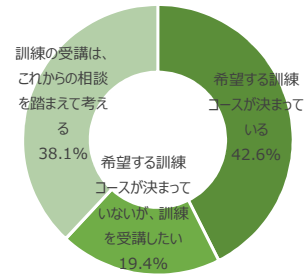
企業 886件

# 訓練相談にかかるエントリーシートの集計表（岩手労働局計）

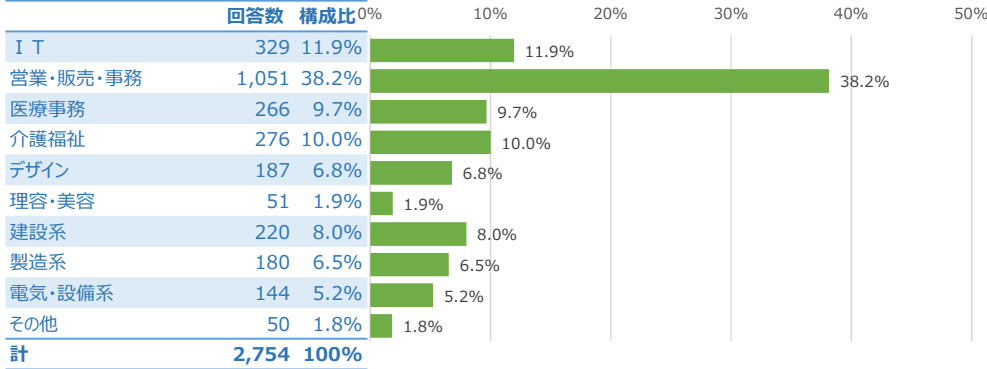
令和4年4月～令和5年1月集計分

## ■ 訓練コースの希望

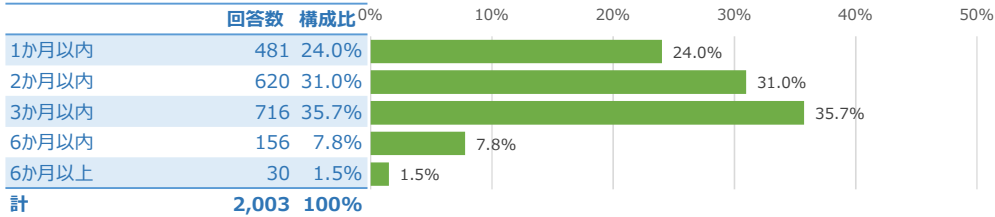
	回答数	構成比
希望する訓練コースが決まっている	861	42.6%
希望する訓練コースが決まっていないが、訓練を受講したい	392	19.4%
訓練の受講は、これからの相談を踏まえて考える	770	38.1%
計	2,023	100%



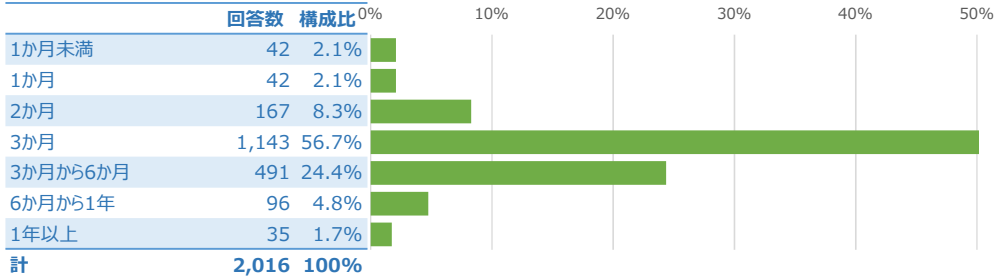
## ■ 希望する訓練の分野



## ■ 希望する訓練コースの開始時期

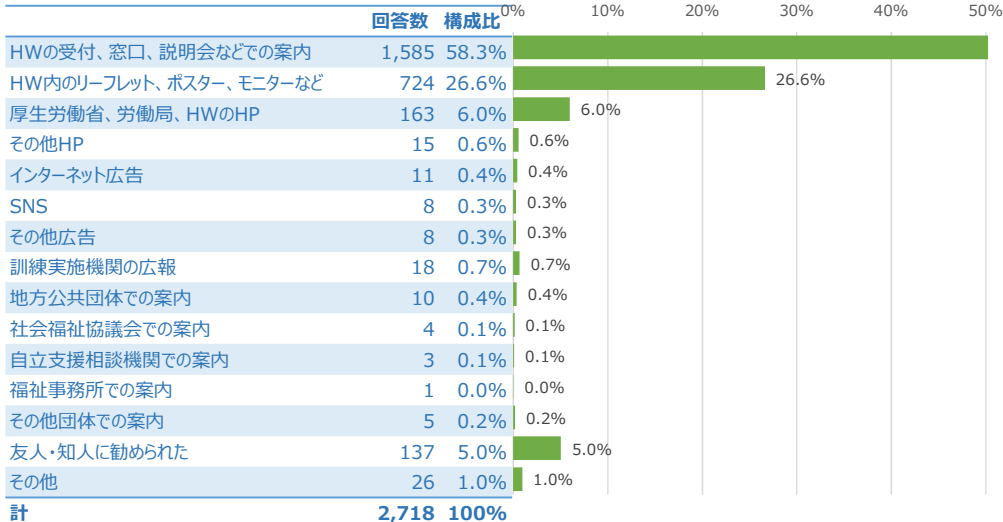


## ■ 希望する訓練コースの期間



## ■ 訓練を何で知りましたか

※令和4年1月分から追加

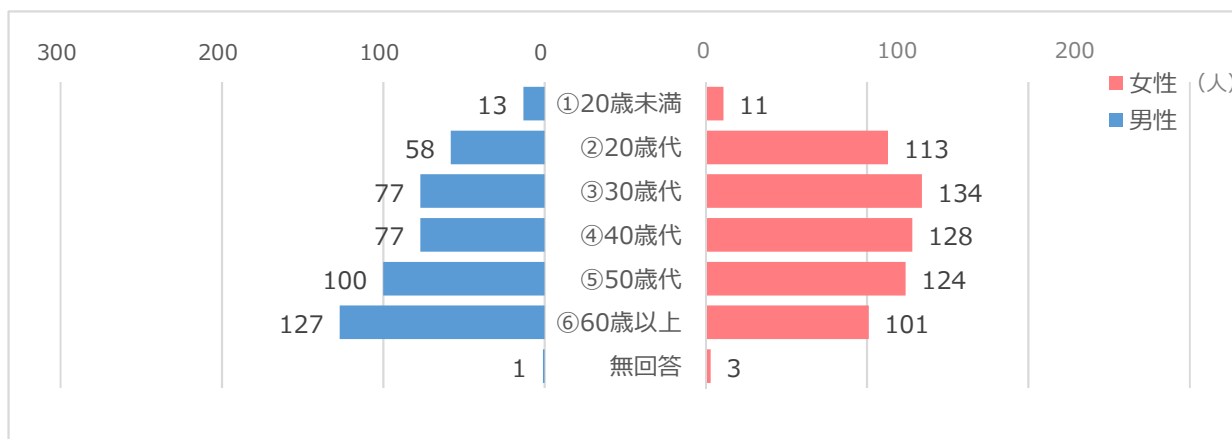


# 令和4年度『職業訓練に関するアンケート調査（求職者）』集計表（抜粋）

岩手労働局

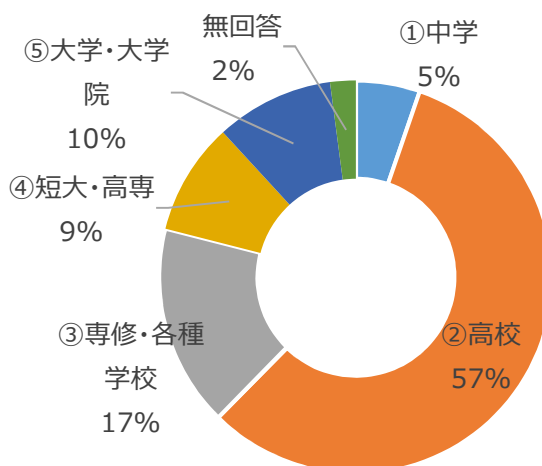
## ○求職者の性別と年齢

	回答数					構成比				
	男性	女性	その他	無回答	計	男性	女性	その他	無回答	計
①20歳未満	13	11	0	0	24	2.9%	1.8%	-	0.0%	2.2%
②20歳代	58	113	0	1	172	12.8%	18.4%	-	5.9%	15.9%
③30歳代	77	134	0	1	212	17.0%	21.8%	-	5.9%	19.6%
④40歳代	77	128	0	2	207	17.0%	20.8%	-	11.8%	19.1%
⑤50歳代	100	124	0	1	225	22.1%	20.2%	-	5.9%	20.8%
⑥60歳以上	127	101	0	4	232	28.0%	16.4%	-	23.5%	21.4%
無回答	1	3	0	8	12	0.2%	0.5%	-	47.1%	1.1%
計	453	614	0	17	1,084	100%	100%	-	100%	100%



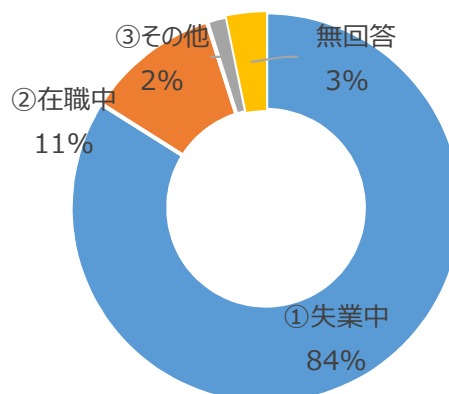
## ○最終学歴

	回答数	構成比
①中学	57	5.3%
②高校	619	57.1%
③専修・各種学校	180	16.6%
④短大・高専	100	9.2%
⑤大学・大学院	105	9.7%
無回答	23	2.1%
計	1,084	100%



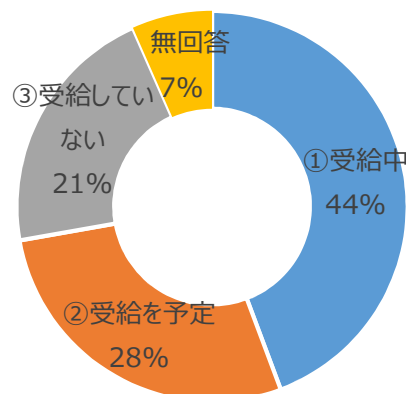
## ○就業状態

	回答数	構成比
①失業中	910	83.9%
②在職中	121	11.2%
③その他	18	1.7%
無回答	35	3.2%
計	1,084	100%



## ○雇用保険の受給

	回答数	構成比
①受給中	480	44.3%
②受給を予定	303	28.0%
③受給していない	229	21.1%
無回答	72	6.6%
計	1,084	100%



## 質問 1 希望する職種について

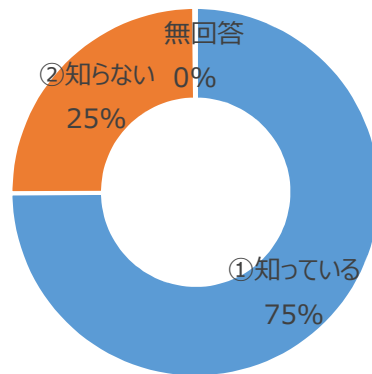
あなたの希望する職種を選んでご記入ください。（3つまで選択可。複数選んだ場合は希望する順にご記入ください。）

	回答数				構成比			
	1番目	2番目	3番目	計	1番目	2番目	3番目	計
① I T	46	14	11	71	4.2%	1.9%	2.4%	3.1%
②医療事務	51	46	13	110	4.7%	6.2%	2.8%	4.8%
③一般事務	249	101	39	389	23.0%	13.6%	8.3%	16.9%
④販売	92	68	37	197	8.5%	9.1%	7.9%	8.6%
⑤営業	14	27	15	56	1.3%	3.6%	3.2%	2.4%
⑥介護	79	45	20	144	7.3%	6.0%	4.3%	6.3%
⑦サービス	121	108	64	293	11.2%	14.5%	13.7%	12.8%
⑧建設・建築	72	20	14	106	6.6%	2.7%	3.0%	4.6%
⑨警備・保安	8	13	13	34	0.7%	1.7%	2.8%	1.5%
⑩農林水産	16	21	19	56	1.5%	2.8%	4.1%	2.4%
⑪運輸通信	36	36	18	90	3.3%	4.8%	3.8%	3.9%
⑫製造（機械・金属）	85	43	26	154	7.8%	5.8%	5.6%	6.7%
⑬製造（電気・電子）	22	55	25	102	2.0%	7.4%	5.3%	4.4%
⑭製造（自動車）	6	18	21	45	0.6%	2.4%	4.5%	2.0%
⑮製造（食品）	35	58	42	135	3.2%	7.8%	9.0%	5.9%
⑯製造（その他）	39	36	62	137	3.6%	4.8%	13.2%	6.0%
⑰その他の職業	88	35	29	152	8.1%	4.7%	6.2%	6.6%
無回答	25	-	-	25	2.3%	-	-	1.1%
計	1,084	744	468	2,296	100%	100%	100%	100%

## 質問2 公的職業訓練について

公的職業訓練を知っていましたか？

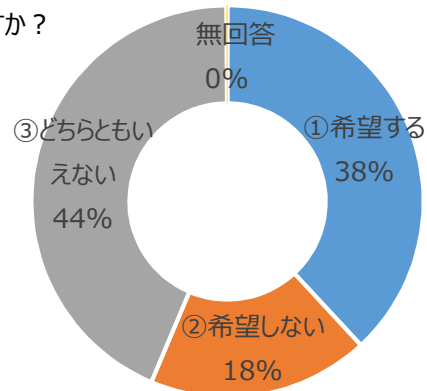
	回答数	構成比
①知っている	812	74.9%
②知らない	271	25.0%
無回答	1	0.1%
計	1,084	100%



## 質問3 公的職業訓練の受講について

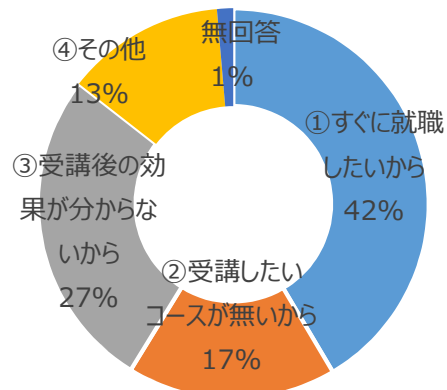
【3-1】今後、機会があれば公的職業訓練を受講したいと思いますか？

	回答数	構成比
①希望する	413	38.1%
②希望しない	198	18.3%
③どちらともいえない	472	43.5%
無回答	1	0.1%
計	1,084	100%



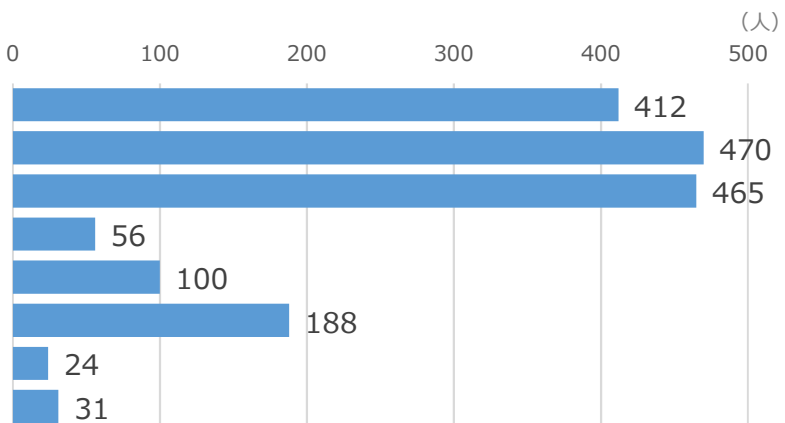
【3-2】3-1で「②希望しない」または「③どちらともいえない」を選択された理由は何ですか？

	回答数	構成比
①すぐに就職したいから	278	41.5%
②受講したいコースが無いから	116	17.3%
③受講後の効果が分からないから	179	26.7%
④その他	88	13.1%
無回答	9	1.3%
計	670	100%



【3-3】職業訓練を受講する場合、どのような条件・環境が備わっていれば良いと思いますか？（複数回答）

	回答数	構成比
①生活保障	412	23.6%
②安い受講費用	470	26.9%
③自宅から近い訓練場所	465	26.6%
④託児サービス	56	3.2%
⑤夜間、土日等の受講	100	5.7%
⑥わからない・特に無い	188	10.8%
⑦その他	24	1.4%
無回答	31	1.8%
計	1,746	100%



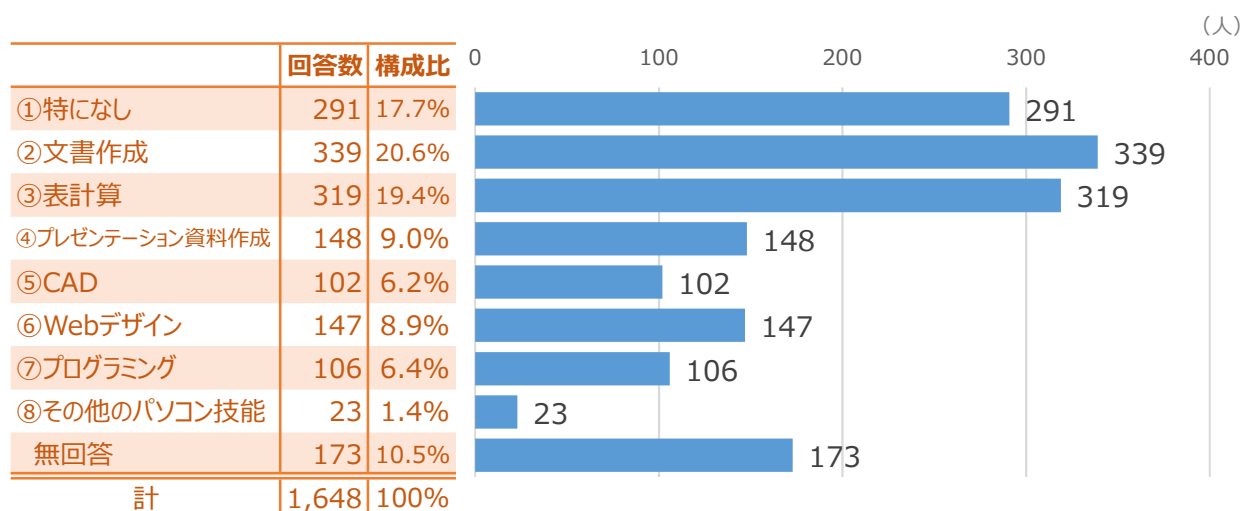
#### 質問4 公的職業訓練の設定コースについて

【4-1】受講してみたいと思う職業訓練コースを3つまで選び、最も受講してみたいと思うものから順に記入してください。

	回答数				構成比			
	1番目	2番目	3番目	計	1番目	2番目	3番目	計
①パソコン基礎コース	377	43	22	442	34.8%	5.2%	3.3%	17.2%
②パソコンスキルコース	118	191	44	353	10.9%	23.0%	6.7%	13.7%
③経理・事務習得コース	53	78	85	216	4.9%	9.4%	12.9%	8.4%
④ITコース	52	43	40	135	4.8%	5.2%	6.1%	5.2%
⑤Webデザインコース	51	54	55	160	4.7%	6.5%	8.3%	6.2%
⑥社会人スキルコース	28	48	50	126	2.6%	5.8%	7.6%	4.9%
⑦介護・福祉住環境コース	58	52	39	149	5.4%	6.3%	5.9%	5.8%
⑧医療事務・介護事務コース	39	60	57	156	3.6%	7.2%	8.6%	6.1%
⑨販売士育成コース	11	29	22	62	1.0%	3.5%	3.3%	2.4%
⑩観光おもてなしコース	13	31	34	78	1.2%	3.7%	5.2%	3.0%
⑪フードスタッフ養成コース	43	54	59	156	4.0%	6.5%	9.0%	6.1%
⑫大型自動車一種運転業務従事者育成コース	34	33	15	82	3.1%	4.0%	2.3%	3.2%
⑬警備・保安コース	5	16	19	40	0.5%	1.9%	2.9%	1.6%
⑭建設機械運転コース	58	39	25	122	5.4%	4.7%	3.8%	4.7%
⑮機械・金属加工コース	16	27	21	64	1.5%	3.2%	3.2%	2.5%
⑯電気設備・電気通信施工コース	8	13	14	35	0.7%	1.6%	2.1%	1.4%
⑰ビル管理コース	4	11	14	29	0.4%	1.3%	2.1%	1.1%
⑱住宅リフォームコース	6	2	26	34	0.6%	0.2%	3.9%	1.3%
⑲宅地建物取引士養成科	13	8	18	39	1.2%	1.0%	2.7%	1.5%
無回答	97	-	-	97	8.9%	-	-	3.8%
計	1,084	832	659	2,575	100%	100%	100%	100%

#### 質問5 パソコン技能について

就職するまでに習得したいと思うパソコン技能をご記入ください。（複数回答）

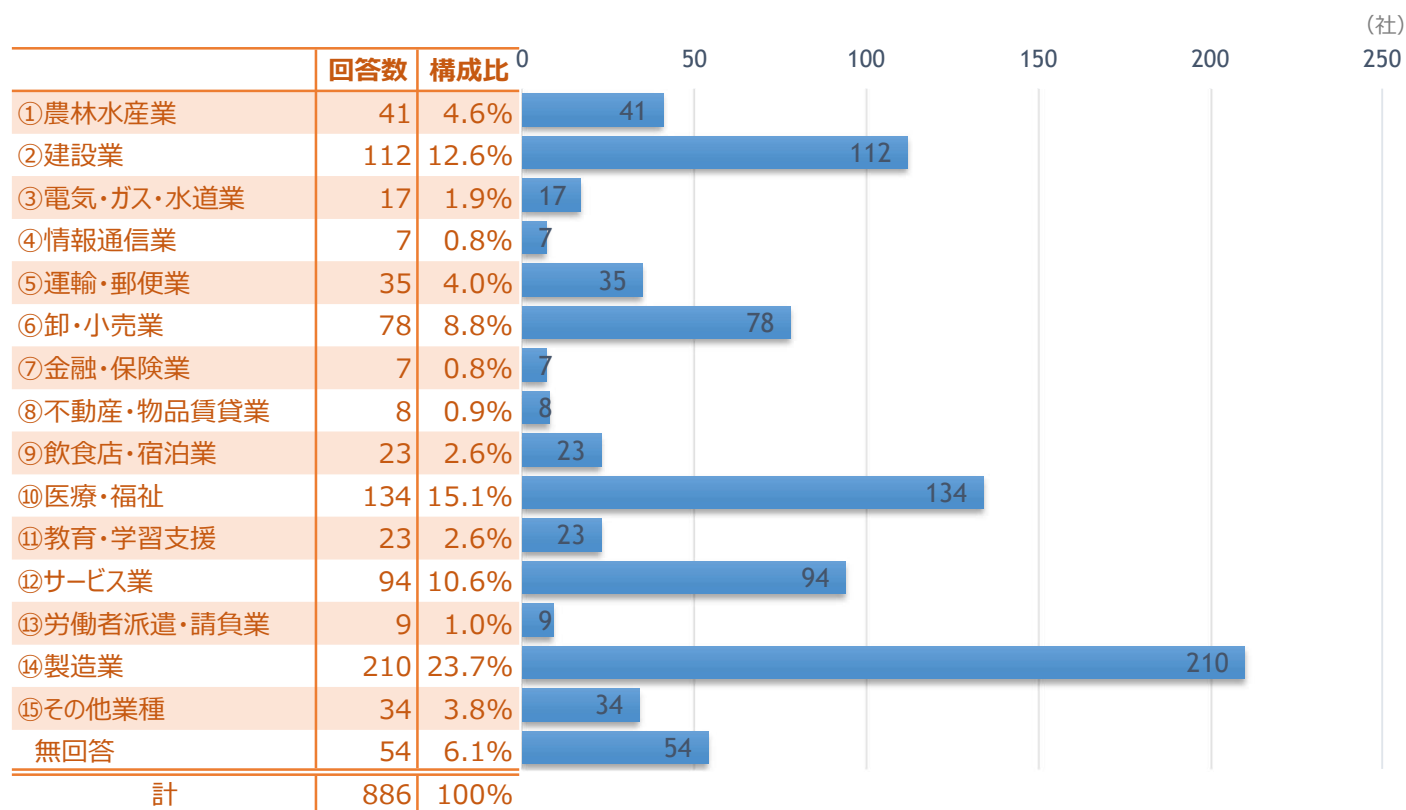




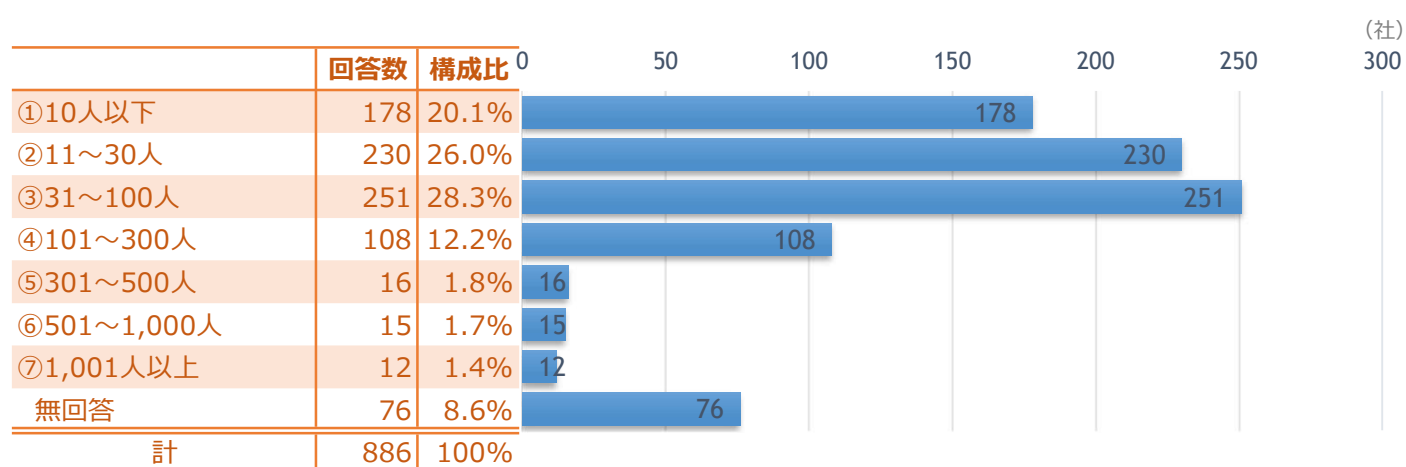
# 令和4年度『職業訓練に関するアンケート調査（企業）』集計表（抜粋）

岩手労働局

## ○産業分類別回答事業所数



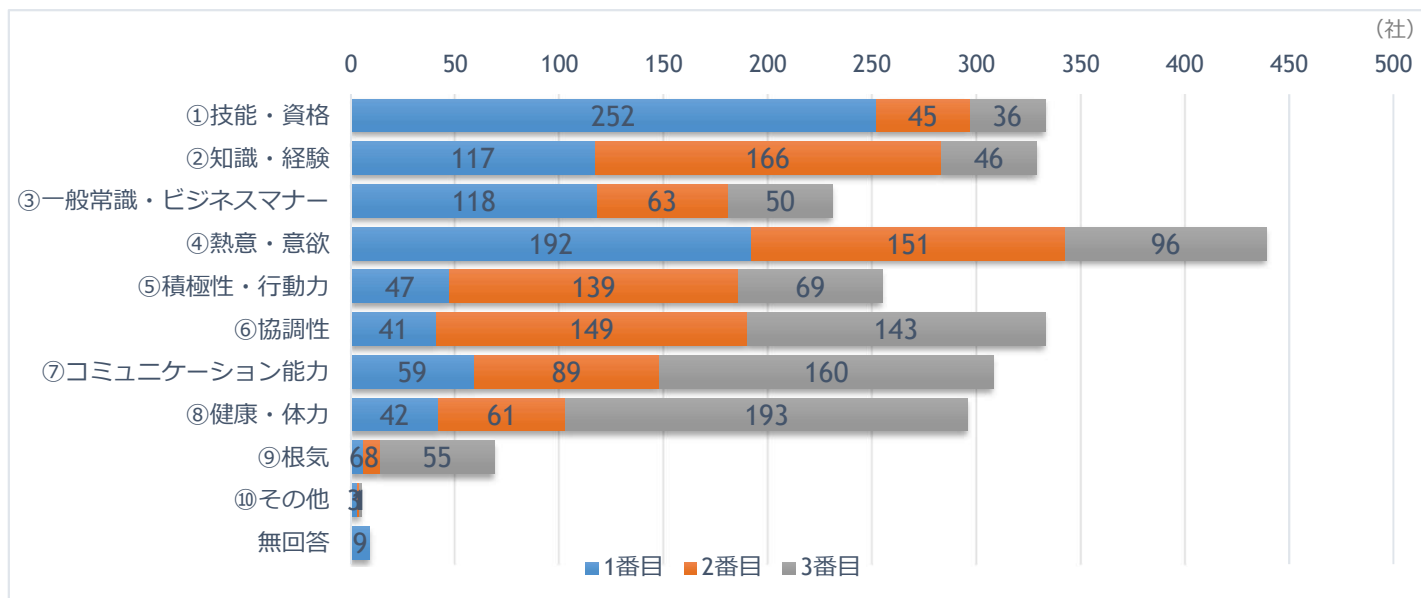
## ○従業員数



## 質問 1 採用時に重視する点について

採用時に重視する点を3つまで選び、最も重視する点から順にご記入ください。

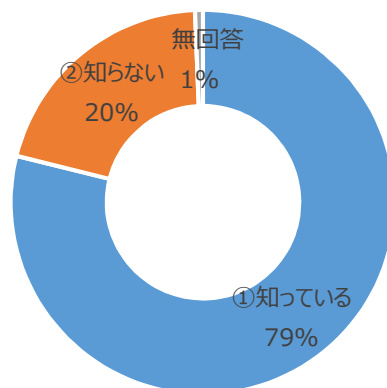
	回答数				構成比			
	1番目	2番目	3番目	計	1番目	2番目	3番目	計
①技能・資格	252	45	36	333	28.4%	5.2%	4.2%	12.8%
②知識・経験	117	166	46	329	13.2%	19.0%	5.4%	12.6%
③一般常識・ビジネスマナー	118	63	50	231	13.3%	7.2%	5.9%	8.9%
④熱意・意欲	192	151	96	439	21.7%	17.3%	11.3%	16.8%
⑤積極性・行動力	47	139	69	255	5.3%	15.9%	8.1%	9.8%
⑥協調性	41	149	143	333	4.6%	17.1%	16.8%	12.8%
⑦コミュニケーション能力	59	89	160	308	6.7%	10.2%	18.8%	11.8%
⑧健康・体力	42	61	193	296	4.7%	7.0%	22.7%	11.4%
⑨根気	6	8	55	69	0.7%	0.9%	6.5%	2.6%
⑩その他	3	1	1	5	0.3%	0.1%	0.1%	0.2%
無回答	9	-	-	9	1.0%	-	-	0.3%
計	886	872	849	2,607	100%	100%	100%	100%



## 質問 2 公的職業訓練について

【2-1】公的職業訓練を知っていましたか？

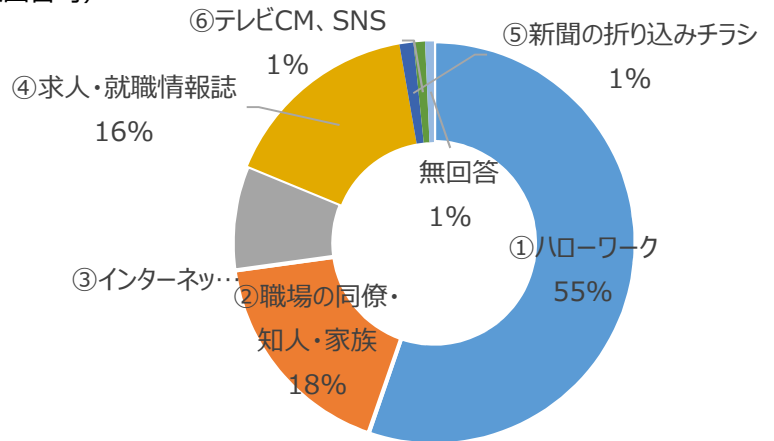
	回答数	構成比
①知っている	698	78.9%
②知らない	181	20.5%
無回答	6	0.7%
計	885	100%



【2-2】2-1で「①知っている」を選択された方にお伺いします。

どのような方法・経路で知ることになりましたか？（複数回答可）

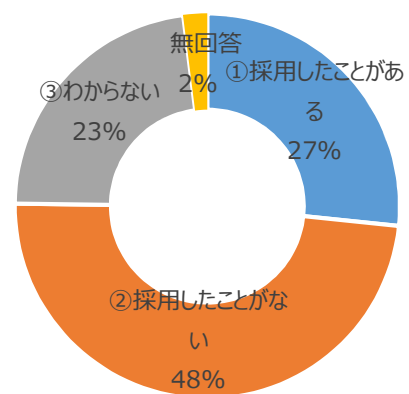
	回答数	構成比
①ハローワーク	539	55.3%
②職場の同僚・知人・家族	171	17.5%
③インターネット	82	8.4%
④求人・就職情報誌	156	16.0%
⑤新聞の折り込みチラシ	11	1.1%
⑥テレビCM、SNS	9	0.9%
無回答	7	0.7%
計	975	100%



【2-3】2-1で「①知っている」を選択された方にお伺いします。

職業訓練の受講者を採用したことがありますか？

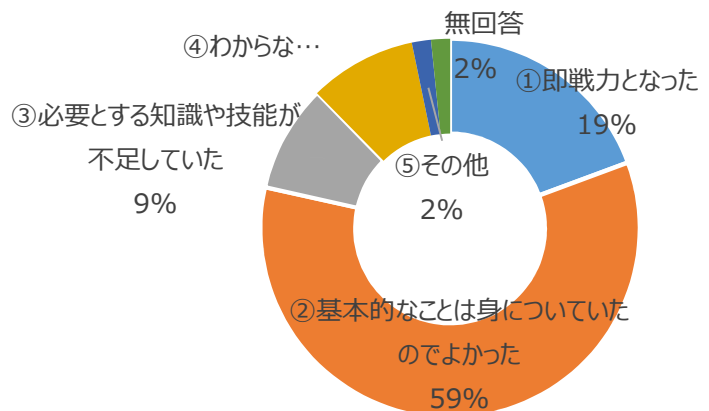
	回答数	構成比
①採用したことがある	186	26.6%
②採用したことがない	339	48.6%
③わからない	159	22.8%
無回答	14	2.0%
計	698	100%



【2-4】2-3で「①採用したことがある」を選択された方にお伺いします。

職業訓練の受講者を採用した結果はいかがですか？

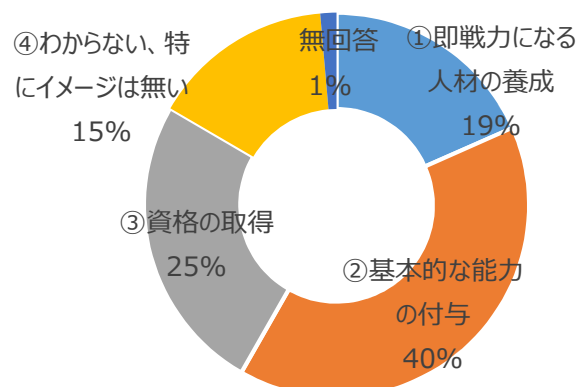
	回答数	構成比
①即戦力となった	36	19.4%
②基本的なことは身についたのでよかった	110	59.1%
③必要とする知識や技能が不足していた	17	9.1%
④わからない	17	9.1%
⑤その他	3	1.6%
無回答	3	1.6%
計	186	100%



### 質問3 公的職業訓練のイメージ

公的職業訓練についてどのようなイメージをお持ちですか？

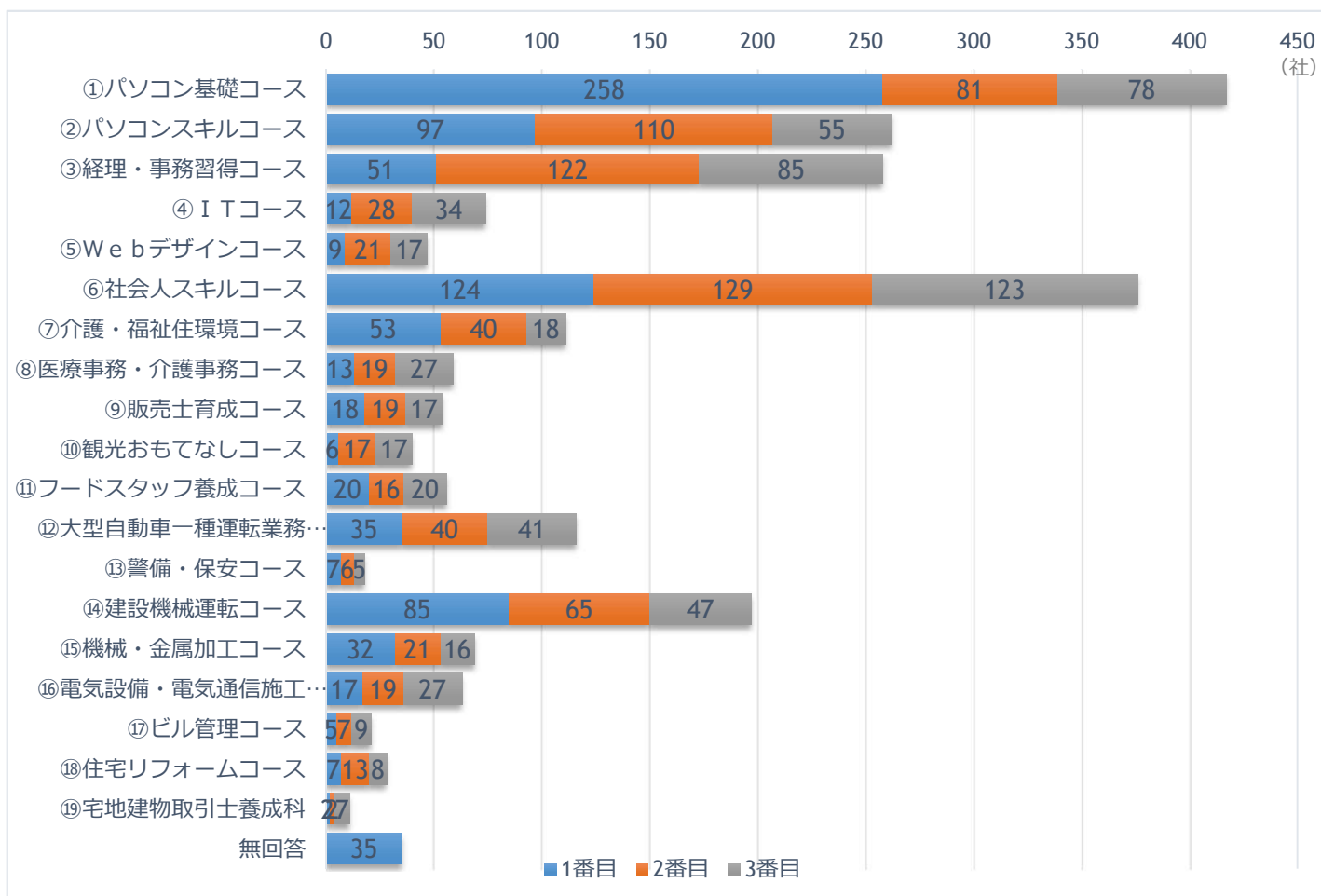
	回答数	構成比
①即戦力になる人材の養成	163	18.4%
②基本的な能力の付与	353	39.8%
③資格の取得	223	25.2%
④わからない、特にイメージは無い	135	15.2%
無回答	12	1.4%
計	886	100%



#### 質問 4 公的職業訓練の設定コースについて

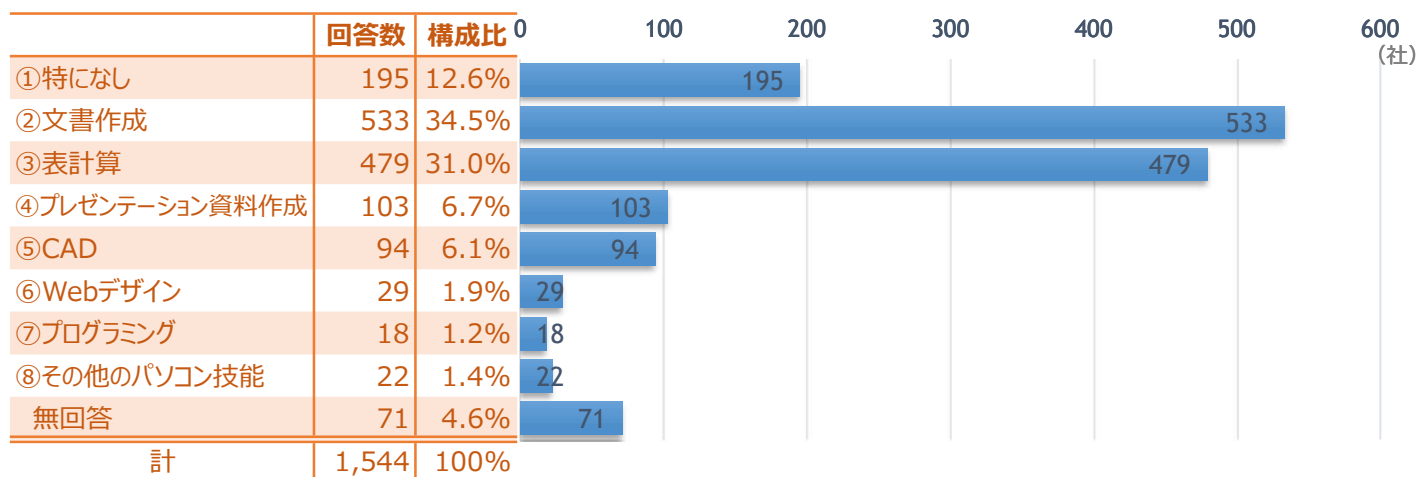
【4 - 1】御社において役に立つと思う職業訓練コースを3つまで選び、最も役に立つと思うものから順に記入してください。

	回答数				構成比			
	1番目	2番目	3番目	計	1番目	2番目	3番目	計
①パソコン基礎コース	258	81	78	417	29.1%	10.5%	12.0%	18.0%
②パソコンスキルコース	97	110	55	262	10.9%	14.2%	8.4%	11.3%
③経理・事務習得コース	51	122	85	258	5.8%	15.7%	13.1%	11.2%
④ITコース	12	28	34	74	1.4%	3.6%	5.2%	3.2%
⑤Webデザインコース	9	21	17	47	1.0%	2.7%	2.6%	2.0%
⑥社会人スキルコース	124	129	123	376	14.0%	16.6%	18.9%	16.3%
⑦介護・福祉住環境コース	53	40	18	111	6.0%	5.2%	2.8%	4.8%
⑧医療事務・介護事務コース	13	19	27	59	1.5%	2.5%	4.1%	2.6%
⑨販売士育成コース	18	19	17	54	2.0%	2.5%	2.6%	2.3%
⑩観光おもてなしコース	6	17	17	40	0.7%	2.2%	2.6%	1.7%
⑪フードスタッフ養成コース	20	16	20	56	2.3%	2.1%	3.1%	2.4%
⑫大型自動車一種運転業務従事者育成コース	35	40	41	116	4.0%	5.2%	6.3%	5.0%
⑬警備・保安コース	7	6	5	18	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%
⑭建設機械運転コース	85	65	47	197	9.6%	8.4%	7.2%	8.5%
⑮機械・金属加工コース	32	21	16	69	3.6%	2.7%	2.5%	3.0%
⑯電気設備・電気通信施工コース	17	19	27	63	1.9%	2.5%	4.1%	2.7%
⑰ビル管理コース	5	7	9	21	0.6%	0.9%	1.4%	0.9%
⑱住宅リフォームコース	7	13	8	28	0.8%	1.7%	1.2%	1.2%
⑲宅地建物取引士養成科	2	2	7	11	0.2%	0.3%	1.1%	0.5%
無回答	35	-	-	35	4.0%	-	-	1.5%
計	886	775	651	2,312	100%	100%	100%	100%



## 質問5 パソコン技能について

入社までに習得してほしいパソコン技能をご記入ください。（複数回答可）



## 岩手県地域職業能力開発促進協議会設置要綱

## 1 目的

岩手労働局及び岩手県（以下「関係機関」という。）は、職業能力開発促進法（昭和44年法律第64号）第15条の規定に基づき、都道府県の区域において、地域の関係機関が参画し、同法第16条第1項の規定に基づき設置する公共職業能力開発施設において実施する職業訓練（同法第15条の7第3項の規定に基づき実施する職業訓練を含む。）及び職業訓練の実施等による特定求職者の就職の支援に関する法律（平成23年法律第47号）第4条第2項に規定する認定職業訓練（両訓練を合わせて、以下「公的職業訓練」という。）を実施するに当たり、地域における人材ニーズを適切に反映した訓練コースの設定を促進するとともに、訓練効果の把握・検証を通じた訓練内容の改善等の協議を行う岩手県地域職業能力開発促進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

## 2 設置主体

岩手労働局及び岩手県

## 3 構成員

協議会は、以下に掲げる者を構成員とする。

- (1) 岩手労働局
- (2) 岩手県
- (3) 職業訓練若しくは職業に関する教育訓練を実施する者又はその団体
- (4) 労働者団体
- (5) 事業主団体
- (6) 職業紹介事業者若しくは特定募集情報等提供事業者又はその団体
- (7) 学識経験者
- (8) その他関係機関が必要と認める者

## 4 任期

協議会委員の任期は2年間とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

## 5 ワーキンググループ

協議会は、協議事項の検討に必要なワーキンググループを設置することができる。

## 6 会長

- (1) 協議会に会長を置き、委員の互選により選任する。
- (2) 会長は、会議の議長となり、議事を整理する。
- (3) 会長に事故があるときは、あらかじめその指名する委員が、その職務を代理する。

## 7 協議会の開催

年2回以上の開催とする。

## 8 協議事項

次に掲げる事項について協議する。

- (1) 公的職業訓練について、地域の人材ニーズ及び実施状況を踏まえた訓練コースの設定に関する事。
- (2) 公的職業訓練について、訓練効果の把握・検証等に関する事。
- (3) キャリアコンサルティングの機会の確保その他の職業能力の開発及び向上の促進のための取組に関する事。
- (4) 公的職業訓練の実施にあたり年度計画の策定に関する事。
- (5) その他必要な事項に関する事。

## 9 事務局

協議会の事務局は、岩手労働局職業安定部に置く。

## 10 その他

- (1) 協議会資料及び議事録等については、協議会において申し合わせた場合を除き、公開とする。
- (2) 協議会の事務に従事する者又は従事した者は、職業能力開発促進法第15条第3項の規定により、正当な理由なく、協議会の事務に関して知り得た秘密を漏らしてはならない。
- (3) この要綱に定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は別に定める。

## 附 則

この要綱は、令和4年11月2日から施行する。



## 令和5年度女性デジタル人材育成に向けたスキル習得導入セミナーについて

県（環境生活部）では、国の「女性デジタル人材育成プラン」（R4.4月決定）の取組を後押しするために内閣府が「地域女性活躍推進交付金」に新設したメニューを活用し、令和5年度に女性デジタル人材育成に向けたスキル習得セミナーの開催を予定しています。

本事業の実施にあたっては、別途情報提供させていただきますので、セミナーの周知等、女性のデジタル人材育成に向け、御理解・御協力をお願いします。

### 女性デジタル人材育成に向けたスキル習得導入セミナー

女性の長期的な経済的自立を目指し、今後ますます需要が高まるデジタル人材への就労に直結するデジタルスキルの習得への関心を促す

デジタル人材への理解促進セミナー  
オンライン1回（定員70名程度）

- ◆IT業界に精通する専門家の講演
  - ・「デジタル人材」に該当する職業、今後の需要
  - ・スキル習得後の活躍機会（就職先等）、待遇面
  - ・スキル習得方法（講座・スクール等の紹介）
- ◆実際にスキルを習得し、IT分野の仕事で活躍するロールモデルの講演



デジタルスキル習得体験  
集合3回（セミナー受講者のうち30名程度）

- ◆PCを使用したアプリ制作体験



キャリアサポート

約1か月（オンライン・電話等での相談体制）

導入セミナー受講後

スキル習得  
（職業訓練、民間スクール等）



スキルを活かして  
就職・転職

経済的自立  
キャリア形成

社内での  
キャリアアップ

起業



# 女性デジタル人材育成プラン

令和4年4月26日  
男女共同参画会議決定

## はじめに

### ・コロナ下における女性の就労支援

コロナは特に女性の就業面に大きな影響を与え、非正規雇用労働者への厳しい影響は今なお継続。他方で、情報通信業はコロナ下においても雇用が増加し、その他の業種でもデジタル人材の需要が高まる中で、女性のデジタルスキルの向上と就労支援が重要。

### ・女性の経済的自立

人生100年時代を迎える中、女性が長期的に経済的自立ができるよう、中高年の女性を含め、新たなスキルを習得する必要。また近年、若い女性が地方から大都市へ流出する傾向があり、女性がのびのびと力を発揮できるよう、地域における雇用創出が重要。

### ・デジタル分野におけるジェンダーギャップの解消

現状、IT技術者や、新たな就業獲得に向けた公的職業訓練のITコースの利用率は、いずれも女性割合が少ない。デジタル人材の需要が高まる中、男女間の偏りの解消に向け取組を進める必要。



図2. 地域における10代~20代女性の人口に対する転出超過数の割合



図3. IT技術者の男女比率

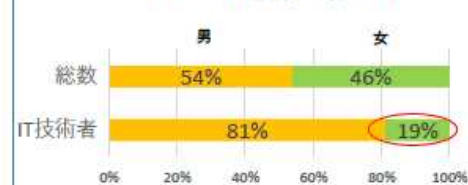
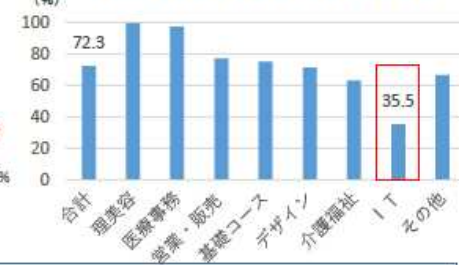


図4. 求職者支援訓練における女性比率



## 本プランの趣旨

### デジタル人材育成の全体取組

政府全体のデジタル人材育成の取組として、  
デジタルを活用し地域の課題解決を牽引する高レベルなスキルを持った専門人材である「デジタル推進人材」の育成・確保という目標を掲げ、男女問わず取組を推進。

### 女性デジタル人材育成プラン

コロナ下で厳しい状況にある女性の就業獲得や所得向上に向けて、  
就労に直結するデジタルスキルを身に付けた女性デジタル人材育成の加速化という目標を掲げ、特に女性を対象とした取組を積極的に実施。

(対象例) コロナの影響による失業や減収で苦しんでいる女性  
育児・介護等により就労に時間的・場所的制約がある女性  
デジタル分野の仕事は未経験でスキルアップしたい女性 等

専門性を高め、所得を更に引き上げていくためにスキルアップを継続  
(「デジタル推進人材」の育成・確保と本プランは地続きの関係にある)

## 本プランのポイント

### デジタルスキル向上とデジタル分野への就労支援という両面の視点から具体策を盛り込んだ総合的な対策

- 基礎的なデジタルリテラシー獲得の支援など、デジタル分野への間口を広く取り、女性の参入を促進。
- 育児・介護等でフルタイムの仕事が出来ない女性も、柔軟な働き方でデジタル就労ができる環境を整備。
- 自治体や企業等に対して周知・啓発を強力に行うことで、全国各地域へ官民連携の取組を横展開。



## 女性デジタル人材育成の具体的な取組

### ① デジタルスキル習得支援

(施策の例)

#### ・ デジタルスキル教育コンテンツの提供

「デジタル人材育成プラットフォーム」において産学官のデジタルスキル教育コンテンツを提供。ポータルサイト上で、女性が活用しやすい講座を抽出するとともに、主要な支援策を分かりやすく一覧化。地域の中小企業と連携した現場研修プログラムも提供。



#### ・ 公的職業訓練を通じたデジタルスキル向上

公的職業訓練において、デジタル分野のコース設定を促進するとともに、育児等で時間的制約のある女性も受けやすいよう、eラーニングコースの拡充や託児サービス付きの訓練コース等を実施。

#### ・ 事業主等が行う職業訓練への助成（人材開発支援助成金等）

事業主等が行うデジタル分野を含む職業訓練に対し、訓練経費等を助成。加えて、特定の訓練を修了した非正規雇用労働者を正社員化した場合、助成額を加算。

#### ・ 地域の教育機関における実践的なプログラムの提供

地域の大学や高等専門学校等において、女性向けを含むデジタルリテラシー向上のために実施する実践的なプログラムを支援。

#### ・ 中高年の女性を含めデジタル活用に不安のある方々への支援

オンラインによる行政手続等のスマートフォンの利用方法などデジタル活用に関する講習会や講師派遣を実施。

### ② デジタル分野への就労支援

(施策の例)

#### ・ 地域の実情に応じた就労支援の取組を後押し

自治体における、デジタルスキルの取得とスキルを生かした就労を支援するための地域の実情に応じた取組を地域女性活躍推進交付金で後押し(地方創生推進交付金など他に活用可能な交付金等も紹介)。

#### ・ 公的職業訓練における就労支援の提供

公的職業訓練によりデジタルスキルを習得した求職者に対し、職業相談や就職支援サービスを提供。着実に就労につなげるため、OJTを取り入れ、企業実習と組み合わせた訓練も推進。

#### ・ 女性の就労機会創出につながるテレワークの定着・促進

時短勤務やフレックス勤務ともなじみやすく、柔軟な働き方を可能とするテレワークの定着・促進に向けて、関係府省や自治体が連携し全国的な導入支援体制の整備等を実施。

#### ・ 農林水産業分野における就労支援

女性農業者が働きやすい環境の整備等に加えて、スマート農林水産業の人材育成の取組と併せて、現場の研修も取り入れ、着実に就労へとつなげる。

### ③ 全国各地域への横展開に向けた周知・啓発

女性デジタル人材育成に関する取組の全体像、優良事例やその背景の考え方の周知・啓発を強力に行い、全国各地域への横展開を図る。

(例)

官民の優良事例を「事例集」として取りまとめ、「デジタル人材育成プラットフォーム」のポータルサイト等に掲載し、随時更新。



### 今後の推進体制

官民連携で3年間集中して取組を推進。本プラン策定3年後を目途に、①各種統計を用いてデジタル人材の男女割合をマクロの視点から点検、②本プランの主要な取組について男女割合や人数を実績として把握し、プラン全体の施策の在り方について必要な見直し。

➤自治体との連携・協力（新たに取組を開始または長期的に取組を実施する自治体に対し、公的職業訓練や交付金、事例集等で後押し）

➤企業等との連携・協力（女性デジタル人材を雇用・育成する企業等の増加が重要との認識のもと、人材開発支援助成金や事例集等で後押し）

# 地域女性活躍推進交付金のメニュー

(R3年度補正予算5.3億円、R4年度当初予算3億円+追加措置1.8億円、R4補正予算6.8億円、R5年度当初予算案2.8億円)

## 【既存】

⇒R4補正:230百万円  
R5当初:87百万円

### (1) 活躍推進型

(職業生活における女  
活推進)

【対象地方公共団体】 推進計画策定

【補助率】 1/2

【交付上限額】 都道府県800万円、  
政令市500万円、市区町村250万円

【交付要件等】

- ・女活法推進計画事業への位置付け
- ・委託先限定要件なし(民間企業も可)

[取組の例]

- ・女性役員・管理職を育成するための研修
- ・企業経営者の意識改革のためのセミナー
- ・地域女性ロールモデル事業
- ・託児機能付サテライトオフィス

## 【新規】

⇒R4補正:102百万円  
R5当初:66百万円

### (2) デジタル人材・ 起業家育成支援型

[取組の例]

- ・女性デジタル人材や女性起  
業家を育成するためのセミ  
ナーや就労につなげる相談  
支援、ネットワークづくり支援

【対象地方公共団体】 制約なし

【補助率】 3/4

【交付上限額】 都道府県1200万円、  
政令市750万円、市区町村375万円

【交付要件等】

次のいずれかの観点を含んでいること

- ・事業実施に当たって、ジェンダーの視点を踏まえ、  
地方公共団体の経済部局や商工会議所等と連携・  
協働すること。
- ・デジタル人材・起業家の育成だけでなく、就労・  
起業までつながることを目指すこと。
- ・雇用に結び付く割合等に関し適切な重要業績評価  
指標(KPI)の設定の上、事業効果が高いと見込まれること。

等